



取扱説明書

ハードディスクレコーダー DVR-S210



このたびは、セレン製ハードディスクレコーダー【DVR-S210】をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しく使用していただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分理解してください。

お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。保証書は、必ず必要事項が記載されていることをご確認ください。

目次

1 お使いになる前に 4

安全上のご注意	4
使用上のご注意	6
本製品の特長	10
付属品の確認	11
各部の名称とはたらき	12
基本的な接続例	15
マウスの使用方法	16

2 使用を開始する 17

すぐに使える “DVR-S210”	18
主な表示画面の確認	19
ライブ画面について	20
[画面表示の切替 / 画面自動切替機能 / ピクチャーインピクチャー機能 / ズーム機能]	
はじめに設定しましょう	22
いろいろな機能	25
再生の操作方法	26
パソコンですぐ再生できる映像データ	29
初期設定内容	30
メニュー画面の表示方法	32

3 各項目の設定 33

システム	システム設定	システム設定画面を表示する	34
		自動切替表示の時間を変える	35
		画面出力を変更する	35
		マーク表示 (する / しない)	36
		ループアウトチャンネル	36
		ボタン操作音 (出す / 出さない)	37
		バージョン・MAC アドレス	37
		パスワードを変更する	38
		HDD (ハードディスク) の上書き設定	40
		日時設定	41
カメラ	初期化		42
	カメラ設定	カメラ設定画面を表示する	44
		カメラの名前を変更する	45
		録画の [ON]、[OFF] を切り替える	46
		録画フレーム数を変更する	47

カメラ	カメラ設定	録音する	48	
		画質を変更する	48	
	カラー設定		50	
	画面設定		51	
スケジュール	スケジュール設定		52	
検知設定	センサー 設定	センサー設定画面を表示する	57	
		センサーのタイプを変更する	58	
		警報ブザーの [ON]、[OFF] を切り替える	58	
		リレー出力を設定する	59	
	動体検知設定	動体検知設定画面を表示する	60	
		検知する感度を変更する	61	
		警報ブザーを鳴らす	61	
		検知する範囲を変更する	62	
	ビデオロス設定		リレー出力を設定する	64
			ビデオロス設定画面を表示する	65
		警報ブザーを鳴らす	66	
		リレー出力を設定する	66	

4 ネットワークの設定

67

ネットワーク	ネットワークの概要	68	
	TCP/IP 設定	IP アドレスを自動取得する	70
		固定 IP アドレスを設定する	71
	メール送信設定	74	

5 記録を確認 (再生) ・コピーする

77

再生検索	検知リスト	78
	履歴リスト	80
コピー	コピー	82
	コピーしたデータをパソコンで再生する	86

付 録

89

外部センサー・リレー端子の使い方	90
仕様	91
故障かな? と思ったら…	92
いろいろな数字入力方法	94
保証 (保証書)	99

安全上のご注意（必ずお守りください）

○お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくため、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	表示の意味
 警告	『取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されること』を示します。
 注意	『取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定されるか、または物的損害の発生が想定されること』を示します。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

図記号	図記号の意味
 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	指示する行為の強制（必ず実行していただく）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 警告	
 指示 煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!! 異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。	 分解禁止 キャビネット（天板）をはずしたり、改造したりしない 内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店にご依頼ください。
 水ぬれ禁止 花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない 内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。	 禁止 内部に異物を入れない 通風口や排気口から金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
 ぬれ手禁止 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。	 禁止 不安定な場所には置かない ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
 禁止 落としたり、キャビネットを破損したりした場合は使わない 火災や感電の原因となります。	 禁止 電源コードを傷つけない ●重いものをのせない ●引っ張らない ●ねじらない ●無理に曲げない ●加熱しない ●加工しない ●束ねない コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり、断線したりするなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。
 接触禁止 雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない 感電の原因となります。	

警告

 <p>指示</p> <p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない</p> <p>交流100V以外の電圧で使用したり、配線器具の定格電流を超えて使用したりすると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。</p>	 <p>指示</p> <p>電源プラグは根元まで確実に差し込む</p> <p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。また、傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
 <p>指示</p> <p>ACアダプターなどは、付属又は指定のものを使う</p> <p>それ以外のものを使用すると、電圧・電流値や+-の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。</p>	 <p>指示</p> <p>ACアダプターを抜き差しするときは、コードを持って引っ張らない</p> <p>コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>

注意

 <p>禁止</p> <p>湿気やほこりの多い場所に設置しない</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>振動や強い衝撃を与えない</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>指示</p> <p>本製品（付属品含む）は屋内専用です</p> <p>屋外での使用は、火災や感電、故障の原因になります。</p>	 <p>指示</p> <p>長時間使用しないときや、お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>電源プラグ 漏電、感電の原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>通風口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●風通しの悪い狭い場所に置かない ●じゅうたんや布団の上に置かない ●テーブルクロスなどをかけない <p>通風口、排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。</p>	 <p>指示</p> <p>本製品は日本国内専用です</p> <p>放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。</p> <p>This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.</p>
 <p>禁止</p> <p>電池は幼児の手の届く所に置かない</p> <p>電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。</p>	 <p>指示</p> <p>電池はプラス (+) とマイナス (-) の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる</p> <p>間違えると電池の破壊・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない</p> <p>電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。</p>	 <p>禁止</p> <p>指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない</p> <p>電池の破壊・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない</p> <p>電池の破壊・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。</p>	 <p>指示</p> <p>電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す</p> <p>電池を入れたままにしておくと、過放電やアルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</p> <p>プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。</p>	 <p>指示</p> <p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</p> <p>プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。</p>

1 使用上のご注意

使用電源について

- ・使用電源はAC100Vです。
- ・消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

使用温度範囲について

- ・この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。また、内蔵ハードディスクは特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。+20℃～+30℃以内で使用されることをおすすめします。

内蔵ハードディスク（以下、HDD）について

- ・本製品は、精密機器であるHDDを搭載しております。本製品の取扱いには、十分ご注意ください。
- ・本製品に振動や衝撃を与えないでください。特に通電中やHDDへのアクセス中は、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- ・録画・再生の動作中または通電中に、電源プラグを抜かないでください。
- ・強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近づけないでください。HDDに記録されているデータが損なわれることがあります。
- ・本製品は、記録運用中にHDD等に軽微な障害が発生した場合、自動復帰で記録運用を継続するシステムを搭載しておりますが、故障の早期発見のため、定期的に録画再生の確認をされることをおすすめします。
- ・本体の電源を切ってから少なくとも1分間は移動させないでください。
- ・HDDは使用環境により寿命は異なりますが、消耗劣化する部品です。+25℃の環境でご使用になる場合で、20,000～30,000時間を目安に交換してください。（ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません。）
HDDに異常が発生した場合は、速やかにHDDを交換してください。交換時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

冷却ファンについて

- ・冷却ファンは使用環境により寿命は異なりますが、消耗劣化する部品です。+25℃の環境でご使用になる場合で、20,000～30,000時間を目安に交換してください。（ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません。）
- ・交換時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

結露について

- ・故障の原因となりますので結露に注意してください。結露が発生しやすい条件は次のような場合です。目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。
 - 湿度の高いところ
 - 暖房した直後の部屋
 - 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

長期間使用しない場合の対応について

- ・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。

お手入れについて

- ・お手入れは電源を切ってから行ってください。
- ・キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたしたあとよくしぼった布で汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ・ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

大切な記録の保存について

- ・必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。また定期的に確認を行い、正常に録画されていることを確認してください。
- ・本機を使用中、本機もしくは接続機器等の不具合により、記録されなかったり正常に再生できなくなったりした場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- ・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをおすすめします。

ネットワークについて

- ・ネットワークの設定については、必ずネットワーク管理者の権限のもとで設定されることをおすすめします。

動体検知機能について

- ・本機に搭載されている動体検知機能は、入力される映像信号の状態などにより、誤動作する場合があります。本機の検知機能を用いて発報するシステムなどに接続している場合は、誤動作にご注意ください。
- ・以下のような場合、動きを検出しにくい、または検出しなかったり、誤動作する場合があります。
 - 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない
 - 夜間など、映像の輝度が低い
 - 被写体の動きが遅い
 - 被写体が小さい
 - 屋外、窓際など光線状態が変わりやすい
 - 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る
 - 蛍光灯がちらつく
 - 被写体に奥行きがある
- ・動体検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間にその動作を確認してください。また、検出しなかったり誤検出する場合は、別途センサーを使用してください。

本機を使用した監視システム構築上の注意

- ・本機を使用して監視システムを構築される際には、事前に他の機器との接続や組み合わせによる動作確認を行った上で、ご使用になることをおすすめします。
- ・大切な記録の場合は、必ず定期的にコピー/バックアップをとられることをおすすめします。
- ・万一、本機の不具合により監視システムの動作エラー、記録データの消失、その他の損失が発生した場合、弊社はその補償や責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本機のリレー機能を、重大な判断に使用したり、人命に関わる用途などに使用したりしないでください。
- ・記録動作中にコンセントを抜いたりブレーカーを切ったりすると、ハードディスクが故障したり、記録したデータが再生できなくなる恐れがあります。

外部機器について

- ・本製品には、USBメモリーでのコピー機能が搭載されています。また、本製品をインターネット環境に接続し、外部のパーソナルコンピュータより映像の確認をすることができます。
- ・本製品に接続する外部機器については、実際の運用前に必ず確認をしてご使用いただくようお願いいたします。
- ・ご使用になりたい外部機器が運用方法に合わない場合があります。販売店にお問い合わせしていただくことをおすすめします。

機器を廃棄または譲渡される場合

- ・HDD内の映像データの取り扱いに注意し、ご使用者側の責任において行ってください。

1 使用上のご注意

使用場所について

- ・本機は屋内専用です。また、以下の場所には設置しないでください
 - 直射日光の当たる場所
 - 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
 - スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
 - 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
 - 厨房など蒸気や油分の多い場所
 - 傾斜のある場所
 - 水滴または水沫のかかる場所
- ・横置き（水平）に設置してください。縦置き、傾けての設置など不安定な場所に置いて使用すると、HDDなどの故障の原因となります。

放熱について

- ・内部に熱がこもると、故障の原因となります。
- ・冷却ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがないようにください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。

雑音源は避けてください

- ・電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本製品の位置を変えてください。

付属の電源コードについて

- ・付属の電源コードは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

その他

- ・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- ・許容周囲温度を必ずお守りください。
- ・移動させるときは、必ず電源スイッチをOFFにし、完全に停止したことを確認したあと、電源プラグをコンセントから抜いてください。通電中に過度な衝撃を与えると、機器内部の電子部品やHDDをいためることがあります。
- ・移動させるときは、内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。

免責について

- ・本製品は盗難・犯罪防止器具、災害防止器具ではありません。本製品の使用または使用不能から生じる不随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・地震、雷、風水雪害などの自然災害、当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は、一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能などから生じる損害に関しては、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本機を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品により記録・編集された映像が何らかの理由により公となり、または記録・編集目的以外に使用され、その結果個人または団体などによるプライバシーの侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・商品の設置（取付け・取外しなど）により生じた建物への損害やその他の損害について、当社は一切の責任を負いません。

個人情報の保護について

- ・本製品のシステムを使用して撮影、記録された人物・その他の映像で、個人を特定できるものは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※ 法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。（その映像の開示・公開、インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。）

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律につ

いての「経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

著作権・肖像権についてのご注意

- ・本製品で録画した映像を無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ・お客様が本製品で録画した映像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権・肖像権等の侵害となる場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている映像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのみ使用に限られますのでご注意ください。

輸出制限について

- ・本製品を海外へ持ち出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規制等、外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

用途制限について

- ・本製品は、一般家庭・店舗用を意図として設計・製作されています。
- ・生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。

※ 高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、重要な監視用途など

商標および登録商標について

Microsoft®、Windows®、Windows® 2000、Windows® XP、Windows® Vistaは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。（Windows® の正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。）

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

（なお、本文中では「®」を明記していません。）

1 本製品の特長

- **同時録画再生機能**
再生時、ネットワーク使用時、項目設定時でも録画できます。
- **外部のパソコンからライブ・再生画面の確認と保存が可能 ※**
※ 1ログイン
- **イベント検知、DVRの異常終了などをメールでお知らせ (1アドレス) ※**
※ DVRをインターネット環境に接続する必要があります。
- **カメラごとに録画フレームの設定が可能**
各カメラごとに録画フレームの設定ができます。(総フレーム数30フレーム以内)
- **録画スケジュール設定**
1時間ごとに、「連続録画」「検知録画」「録画しない」の設定ができます。
さらに各カメラごとの設定が可能。
- **動きを検知して録画を開始する動体検知録画機能**
映像の動きを検知して録画(約10秒)ができますので、効率的です。また、リレー端子が付いていますので、外部のアラームや外部通報などに使えて便利です。
- **外部センサーの検知で録画を開始**
外部センサーの検知で録画開始(約10秒)ができます。また、リレー端子が付いていますので、外部のアラームや外部通報などに使えて便利です。
- **プリアラーム機能搭載**
動体検知や外部センサーの検知の録画の場合、検知した時点の約5秒前からの映像を記録します。
- **日時再生機能付き**
日時を指定して再生することができます。
- **検知リスト (センサー検知・動体検知) 機能搭載**
リストを指定しての再生が可能。
- **画面切替機能搭載**
4台のカメラを1台ずつ順番に見られる画面切替機能を搭載。大きな画面で自動的に切り替わるので、監視などに便利です。(録画時のみ)
- **録音機能付き (1系統)**
- **電源・録画・再生・ネットワークの表示ランプ付き**
- **3段階の録画画質設定**
- **カメラごとのカラー調整が可能**
各カメラごとに、「明度」「彩度」「コントラスト」「色相」が調整できます。
- **大容量250GBのハードディスク内蔵**
- **ズーム機能・ピクチャー イン ピクチャー機能搭載**

付属品の確認

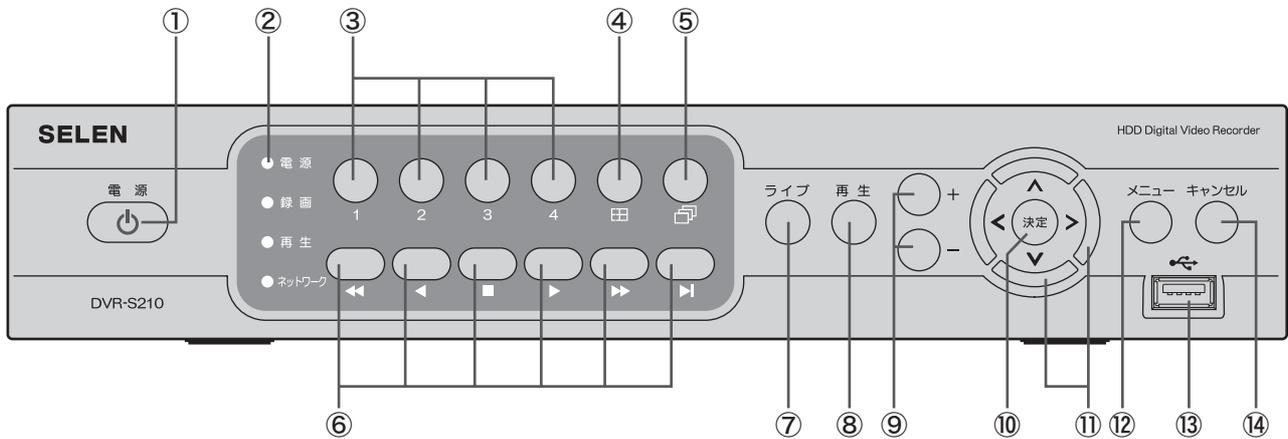
本製品には、下記の付属品が同梱されています。

梱包箱を開封した際には、下記の付属品が揃っているか内容をご確認ください。

■ 本体	× 1
■ 専用 AC アダプター	× 1
■ 電源ケーブル	× 1
■ リモコン	× 1
■ リモコン用乾電池（単 4 形）	× 2
■ BNC-RCA 変換コネクタ	× 5
■ マウス	× 1
■ 映像ケーブル	× 1
■ 取扱説明書（保証書付き）	× 1
■ 遠隔操作ガイド	× 1
■ クイックガイド	× 1

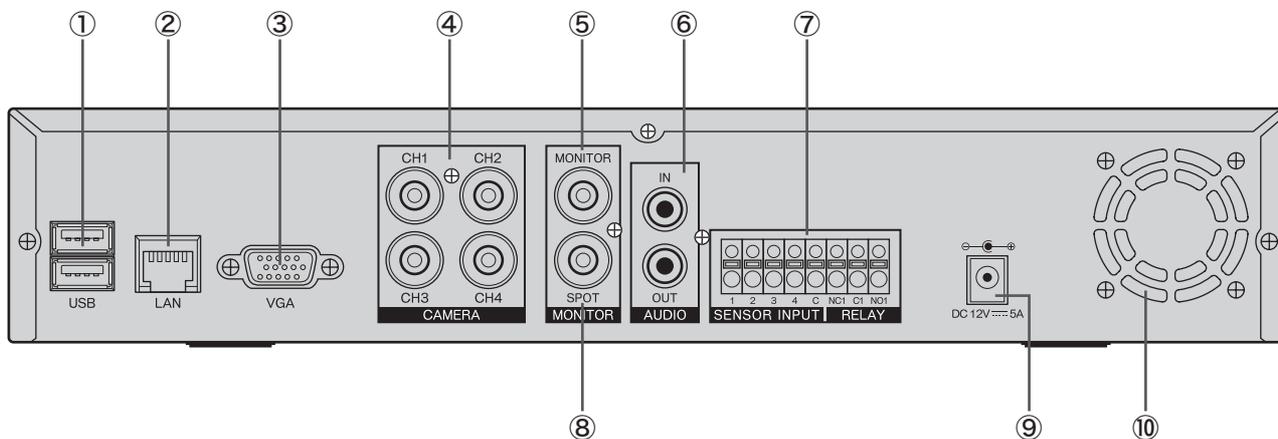
各部の名称とはたらき

本体前面



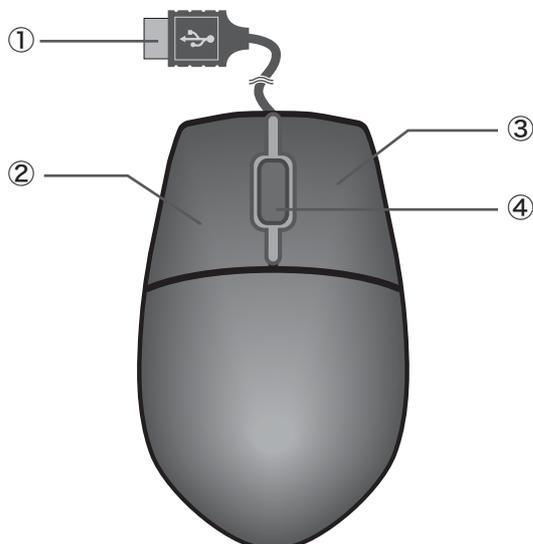
- ① **電源ボタン**
本機の電源を ON / OFF します。
- ② **ランプ**
[電源] 電源が入っているときに点灯します。
[録画] 録画しているときに点灯します。
[再生] 再生しているときに点灯します。
[ネットワーク] ネットワークにつながっているときに点灯します。
インターネット経由でログインしたときに点滅します。
- ③ **カメラ切替ボタン**
各カメラ [1 ~ 4] の画面に切り替えます。
- ④ **4 分割画面切替ボタン**
4 分割画面に切り替えます。
- ⑤ **画面自動切替ボタン**
各カメラの画面を自動で切り替えます。(再生時は切り替わりません)
- ⑥ **再生時操作ボタン**
◀◀ **早戻し再生ボタン** 速いスピードで戻しながら再生します。
◀ **戻し再生ボタン** 戻しながら再生します。
■ **停止ボタン** 再生を一時停止します。
▶ **再生ボタン** 再生します。
▶▶ **早再生ボタン** 早送り再生をします。
▶▶ **コマ送りボタン** コマ送り再生をします。
- ⑦ **ライブ画面切替ボタン**
再生画面からライブ画面に切り替えます。
- ⑧ **再生操作画面切替ボタン**
ライブ画面から再生操作画面に切り替えます。
- ⑨ **＋ボタン**
各項目の設定内容や数値などを変更します。
- ⑩ **決定ボタン**
選択、設定内容を確定させます。
- ⑪ **上下左右移動ボタン**
メニュー画面でカーソルを移動させます。
- ⑫ **メニューボタン**
メニュー画面を表示させます。
- ⑬ **USB 端子**
マウスや USB メモリなどを接続します。
- ⑭ **キャンセルボタン**
各項目をキャンセルします。

本体後面



- ① **USB 端子**
マウスや USB メモリを接続します。
- ② **LAN 端子**
LAN ケーブルを接続します。
- ③ **VGA 端子**
VGA 仕様のモニターや VGA ケーブルを接続します。
- ④ **カメラ（映像）入力端子**
カメラ（映像）を入力します。
- ⑤ **モニター出力端子**
映像を出力します。
- ⑥ **音声入出力端子**
音声を入出力します。
- ⑦ **センサー入力・リレー出力端子**
※詳しくは、P90 をご覧ください。
- ⑧ **スポット出力端子**
スルー映像を出力します。
- ⑨ **電源入力 [DC-12V]**
付属の AC アダプターを接続します。
- ⑩ **冷却ファン**
内部の温度上昇を防ぐためのものです。
(ふさがないようにしてください)

マウス

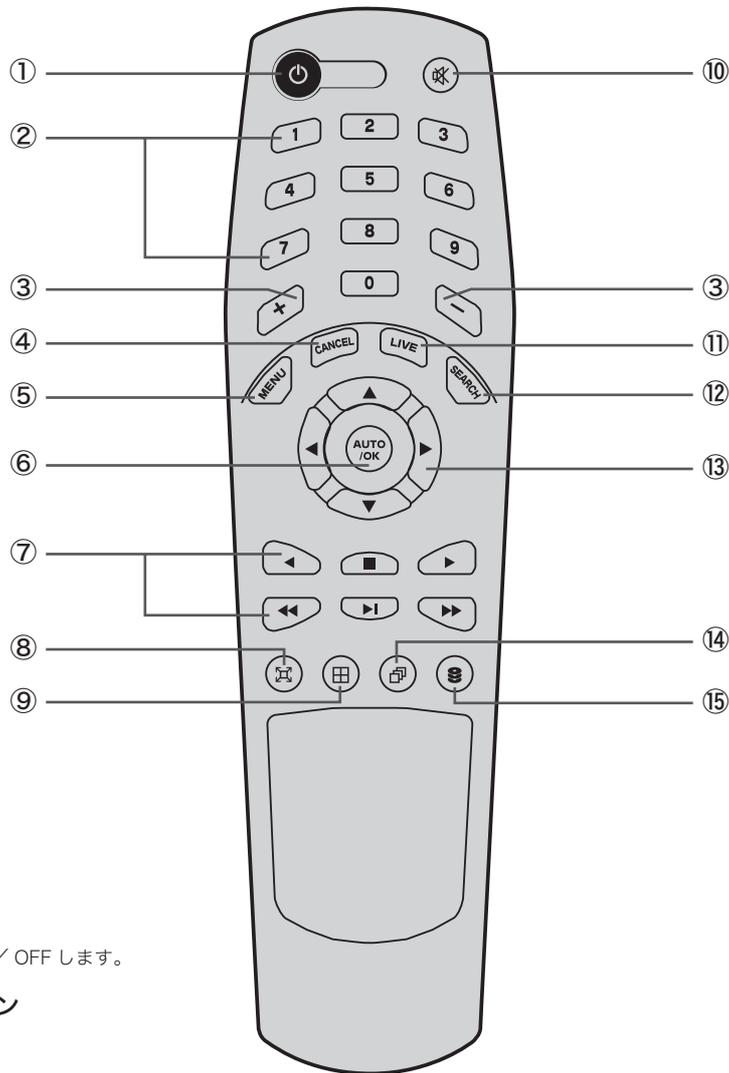


- ① **USB 端子**
本体の USB 端子に接続します。
- ② **左クリックボタン**
選択、決定などの際に使用します
- ③ **右クリックボタン**
「マウス操作ツールバー」を表示させます。
※ダブルクリックで表示の ON/OFF が切り替えられます。
- ④ **スクロール**

マウスの使用方法は、
P16 をご覧ください。

各部の名称とはたらき

リモコン



① 電源ボタン

本機の電源を ON / OFF します。

② 数字入力ボタン

③ +-ボタン

各項目の設定内容や数値などを変更します。

④ キャンセルボタン

各項目をキャンセルします。

⑤ メニューボタン

メニュー画面を表示させます。

⑥ 決定ボタン

選択、設定内容を確定させます。

⑦ 再生時操作ボタン

早戻し再生ボタン 速いスピードで戻しながら再生します。

戻し再生ボタン 戻しながら再生します。

停止ボタン 再生を一時停止します。

再生ボタン 再生します。

早再生ボタン 早送り再生をします。

コマ送りボタン コマ送り再生をします。

⑧ カメラ切替ボタン

各カメラ [1 ~ 4] の画面に切り替えます。

⑨ 4分割画面切替ボタン

4分割画面に切り替えます。

⑩ 消音ボタン

⑪ ライブ画面切替ボタン

再生画面からライブ画面に切り替えます。

⑫ 再生操作画面切替ボタン

ライブ画面から再生操作画面に切り替えます。

⑬ 上下左右移動ボタン

メニュー画面でカーソルを移動させます。

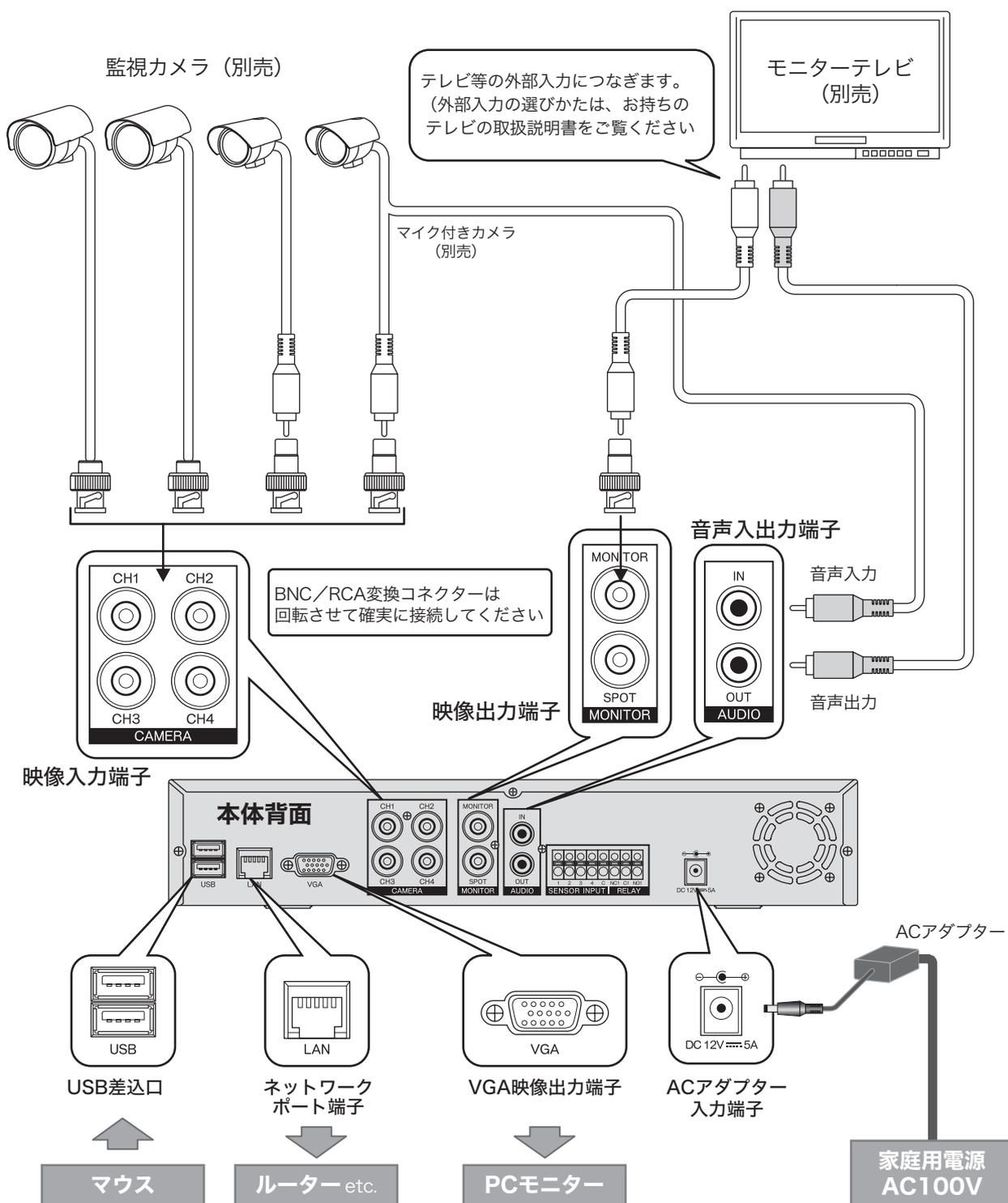
⑭ 画面自動切替ボタン

各カメラの画面を自動で切り替えます。
(再生時は切り替わりません)

⑮ コピーボタン

基本的な接続例

■ 監視カメラ・モニターテレビの基本的な接続例



- ◆ 同時に4台までの監視カメラを接続することができます。(VIDEO IN BNC端子)
カメラのビデオケーブルがBNC端子の場合はそのまま接続できます。
RCAピン端子の場合は、付属のBNC/RCA変換コネクタを本製品の端子部に接続してから、ビデオケーブルを差し込んでください。
BNC/RCA変換コネクタは、回転させて確実に接続してください。
- ※ カメラの電源は、別途必要です。
- ※ 監視カメラによってビデオケーブルは、別売りになっている場合があります。
- ※ 接続される機器の操作につきましては、各取扱説明書をご覧ください。

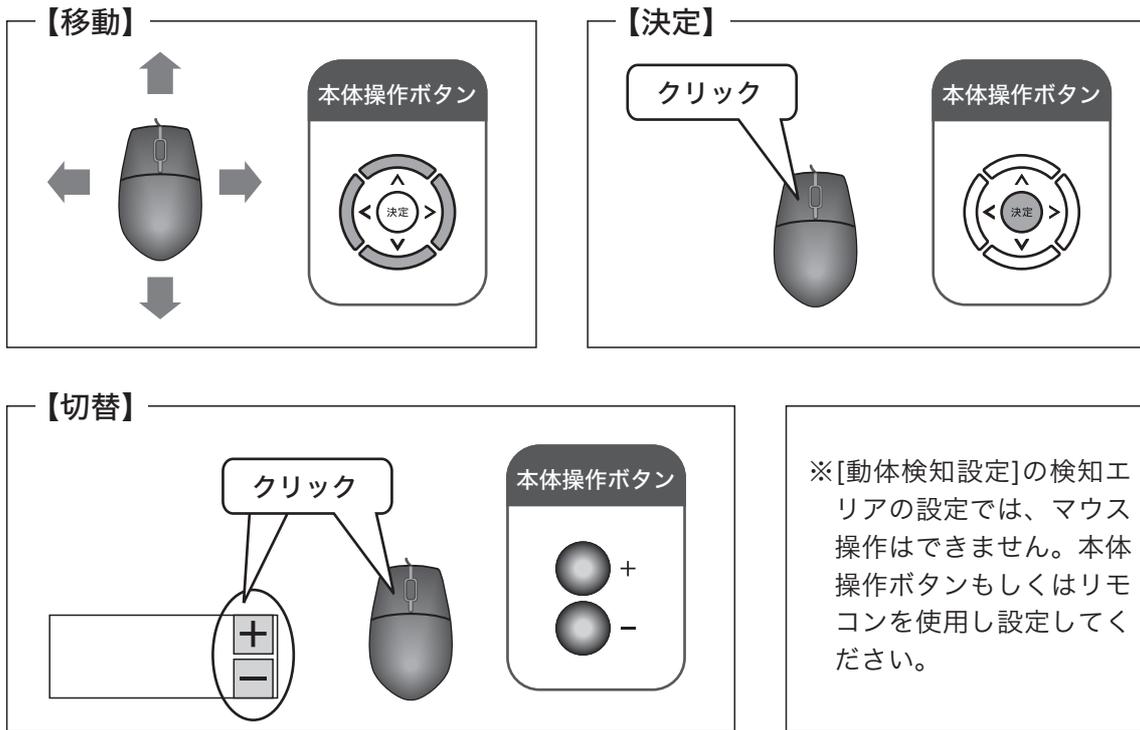
マウスの使用方法

本製品は、各操作を本体前面操作ボタンやリモコンのほかに、マウスで行うことができます。

◆マウスを本体に接続する

本体前面もしくは背面のUSB端子にマウスを接続します。しばらくすると、画面上にマウスポインタ（矢印）が表示されます。

◆基本的なマウスの操作方法



◆マウス操作ツールバーについて



マウスの右ボタンをダブルクリックすると、ツールバーが表示されます。操作方法は、本体・リモコンと同じです。マウスポインタを各項目に合わせ左クリックで操作します

▼ライブ画面時



①電源 ②メニュー ③ライブ ④再生 ⑤ ⑥ ⑦



▲再生操作画面時

- ①電源
- ②メニュー
- ③ライブ画面切替
- ④再生操作画面切替
- ⑤単一画面切替
- ⑥4分割画面切替
- ⑦画面自動切替
- ⑧再生時操作ボタン

※ツールバー上の【単一画面切替】を繰り返しクリックしても、単一画面はカメラの映像を切り替えません。

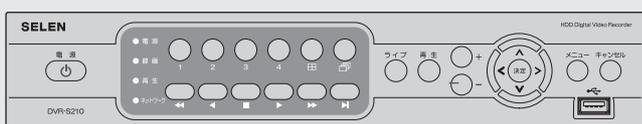
マウス操作を使用した単一画面への切り替えは、4分割画面上の単一表示したい画面上で左ダブルクリックしてください。

【単一画面切替】クリック時には、最後にこの操作で選択された画面を表示します。

使用を開始する

2

使用を開始する



すぐに使える “DVR-S210”

2

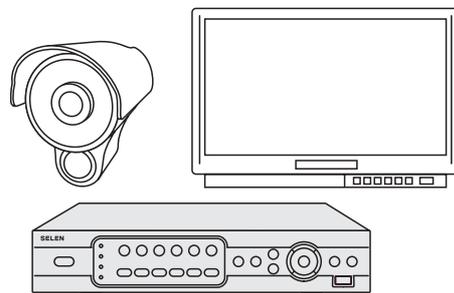
使用を開始する

すぐに使える「DVR-S210」

Step.1

カメラ・モニターを接続する

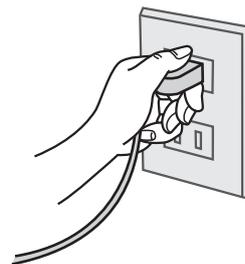
15ページの接続例を参考に、監視カメラ、モニターを接続します。



Step.2

電源コード・ACアダプターをつなぐ

付属のACアダプターと電源コードをつなぎ、本体の電源入力端子と家庭用電源コンセント（AC100V）に接続します。



自動的に電源が投入されます



Step.3

システムの確認をした後、しばらくすると自動的に録画状態になります。
（電源投入後、録画状態になるまで、約1分30秒かかります）

日時を確認する

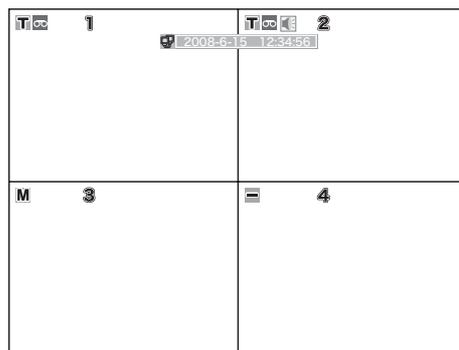
本製品は工場出荷時に日時を設定してありますが、使用を開始する際は日時をご確認ください。また、必要がある場合は、正しい日時設定を行ってください。

（変更の方法  41ページ「日時設定」を参照）

主な表示画面の確認

ライブ画面

電源を入れると、一番最初に表示されます。
接続されたカメラのライブ映像を見ることができます。
画面上の表示については、「ライブ画面について」
(20ページ) をご覧ください。



4画面の場合

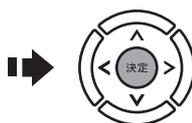
メニュー画面

各項目の設定内容を変更するためのメニュー画面です。
設定方法は、「各項目の設定」(33ページ) をご覧ください。

 画面の出し方

ライブ画面

メニュー



日時指定再生画面

録画されたデータを再生するときに使います。
再生方法は、「再生の操作方法」(26ページ) を
ご覧ください。

 画面の出し方

ライブ画面

再生



本製品は、映像の再生中や各種項目の設定中でも、録画しています。

ライブ画面について

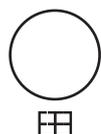
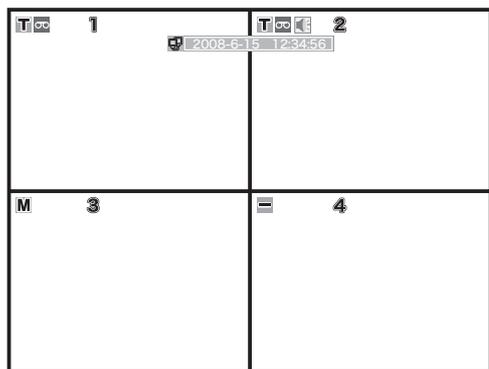
ライブ画面上の表示について

1234	カメラチャンネルの名前を表します。(変更できます)
T	連続録画が設定されていることを表します。
—	「録画せず」が設定されていることを表します。
E	イベント録画(動体検知+センサー検知)が設定されていることを表します。
S	センサー検知録画が設定されていることを表します。
M	動体検知録画が設定されていることを表します。
	録画していることを表します。
	動体検知されたことを表します。
	センサーが検知されたことを表します。
	録音が設定されていることを表します
	ネットワークの接続状態を表し、接続されていない場合は「×」表示がでます。
	単一画面の時に表示され、【+】ボタンで拡大したり戻したりできます。ZOOM1×~ZOOM4×までの範囲です。
2008-06-15 12:34:56 現在の日時を表します。	

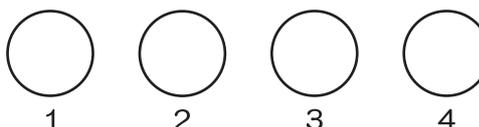
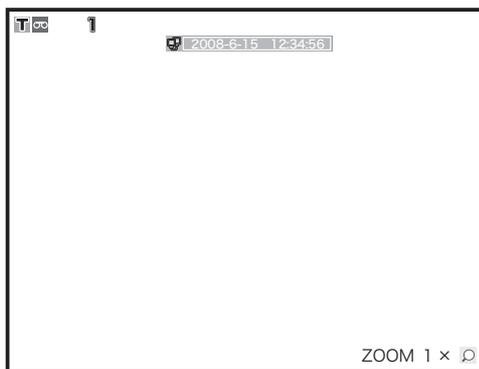
4画面表示と単一画面表示の切替

ライブ画面は、4画面と単一画面に切り替えることができます。見たい【カメラ切替】ボタン [1] [2] [3] [4] のいずれかを押して、それぞれの単一画面を表示させます。4画面にするとときは、【4分割画面切替】ボタンを押します。

4画面表示



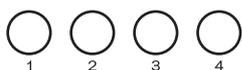
単一画面表示



画面自動切替機能

単一画面時に、【画面自動切替】ボタンを押すと1画面ずつ自動的に画面が切り替わります

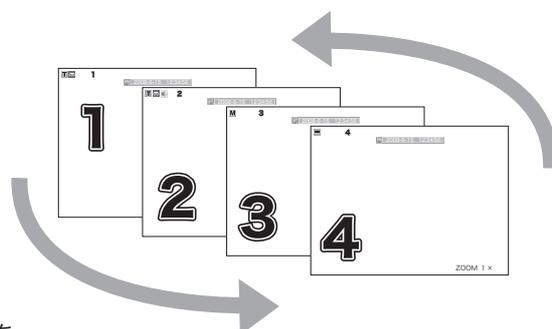
設定方法



①4分割画面から、【カメラ切替】ボタン [1] [2] [3] [4] のいずれかを押して単一画面を表示させます。

②【画面自動切替】ボタンで画面の自動切替を開始します。

③【画面自動切替】ボタンもしくは、【4分割画面切替】ボタンを押すと、自動切替がストップします。

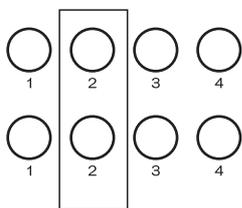


※録画設定が「OFF」になっているチャンネルは自動的に飛ばして表示します。

ピクチャーインピクチャー機能について

単一画面時に、他のカメラチャンネルの映像を小画面で表示させることができます。

設定方法



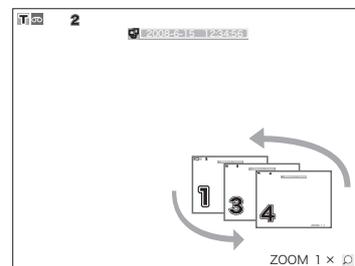
※ [2] の場合

①4分割画面から、【カメラ切替】ボタン [1] [2] [3] [4] のいずれかを押して単一画面を表示させます。

②表示させた（大画面に映っている）チャンネルの【カメラ切替】ボタンを再度押すと、他のチャンネルの画像が小画面で表示されます。

③同じボタンを押すごとに、小画面の映像が切り替わります。

④大画面以外のチャンネルボタンもしくは、【4分割画面切替】ボタンを押すと、小画面が消えます。

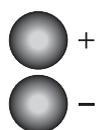


※録画設定が「OFF」になっているチャンネルは自動的に飛ばして表示します。

ズーム機能

単一画面の時に、映像を拡大することができます。

設定方法

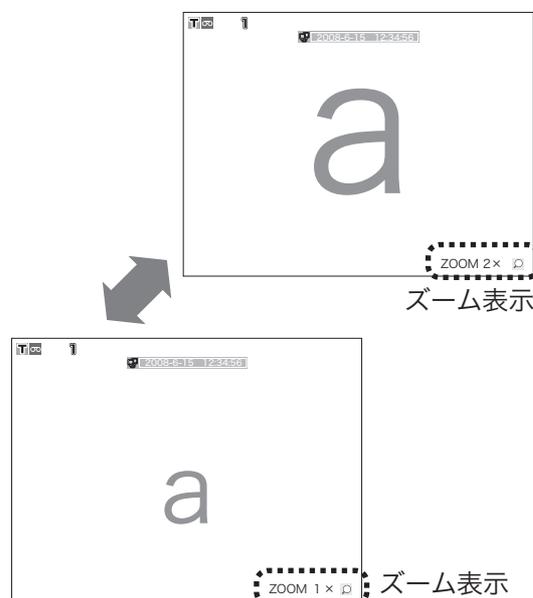


ボタンで、ズームの倍率を調整します。
(ZOOM 1× ~4×の間で調整できます)



2× ~ 4×の間では、上下左右ボタンで画面をずらすことができます。

※ 倍率を高めるほど、表示される画質は粗くなります。



はじめに設定しましょう

1. 動きのスムーズな映像を録画する

■ カメラを接続していないチャンネルの録画をOFFに変更する

初期の設定内容は、カメラの接続・未接続にかかわらず、すべてのチャンネルを録画する設定になっています。カメラを接続していないチャンネルの[録画]の設定を[OFF]に変更し、カメラを接続しているチャンネルのフレーム数を増やしてください。

再生時に、よりスムーズな映像を見ることができます。

※カメラ未接続のチャンネルが[ON]に設定されている場合、カメラが未接続のチャンネルにおいても、録画時にフレームが使用されます。

■ 録画フレーム数を変更する

録画フレーム数を変更したい場合は、「録画フレームを変更する」の録画時間の目安47ページの表を参考に設定してください。

※録画時間の表は、あくまでも目安です。録画可能時間は、[録画画質]の設定によっても変わります。また、カメラの設置場所の環境や入力する映像の色・明るさ・動き等で録画可能な時間が増減する場合があります。

録画時間の目安

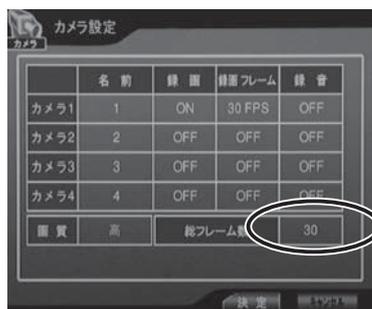
録画総フレーム数	30	15	10	8	7	5	3	1
録画時間の目安	10.0日	13.5日	15.3日	17.2日	18.9日	25.2日	41.4日	124日

※[録画画質]設定が[高]、[録音]設定が[OFF]、24時間連続録画、カメラを接続していないチャンネルの録画設定を[OFF]にした場合

◇本製品はカメラごとに録画フレーム数を設定できます。

◇録画時間の表は、あくまでも目安です。カメラの設置場所の環境や入力する映像の色・明るさ・動き等で録画可能な時間が増減します。

◇録画可能時間は、[録画画質]の設定によっても変わります。



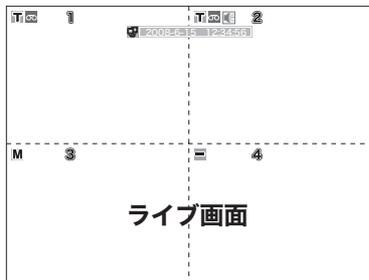
総フレーム数の表示位置

※総フレーム数は、自動的にカメラのフレーム数の合計が表示されます。



設定方法

ここでは、カメラ1台、30フレームで、設定を行います。



ライブ画面で【メニュー】ボタンを押す。

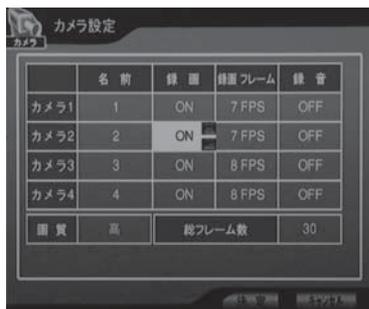
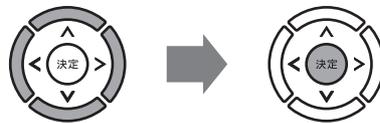
メニュー



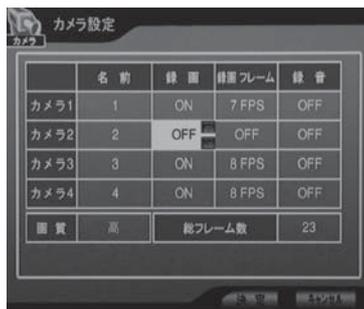
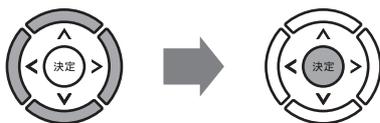
パスワード入力画面が表示されますが、入力をせずにそのまま【▲▼◀▶】ボタンで【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。
※（パスワードを設定後は入力）



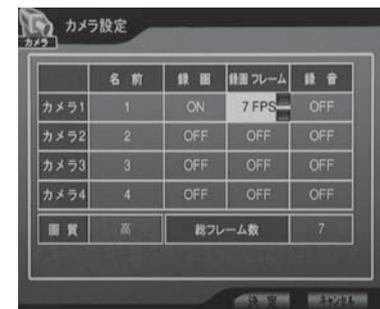
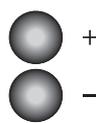
メニュー画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカメラ項目の【カメラ設定】を選び、【決定】ボタンを押す。



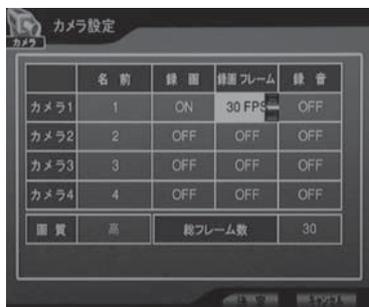
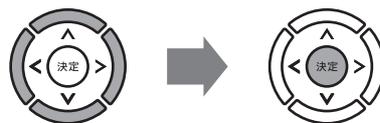
カメラ設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで【OFF】に切り替えたいカメラの【録画】項目にあわせませす。



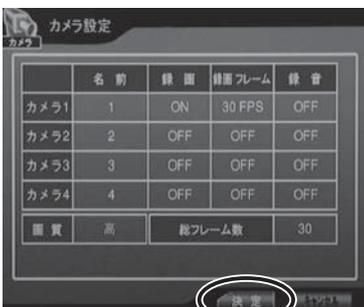
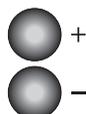
【+-】ボタンを押すごとに【ON】【OFF】が切り替わります。※繰り返し、【カメラ3】【カメラ4】も【OFF】にします。



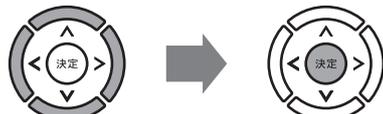
次に、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【録画フレーム】項目にあわせませす。※ここでは、【カメラ1】にしています。



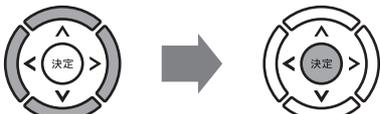
【+-】ボタンを押すごとに【フレーム数】【総フレーム数】が切り替わります。※ここでは、【7】を【30】に変更しています。



設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



画面中の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。
※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



※工場出荷状態では、パスワードは設定されていません。

はじめに設定しましょう

2. カメラの配線が抜けたとき等にブザーを鳴らす

カメラ信号が途切れたときにブザーを鳴らす

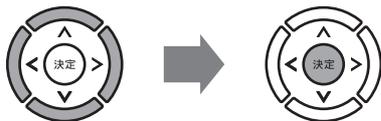
カメラの配線が抜けたり、断線したり、またカメラの電源が落ちたり、カメラ入力信号が途切れたときに、本体の警報ブザーでお知らせする機能です。より確実な記録のために、[ON] にすることをおすすめします。

※初期の設定は全チャンネル「OFF」になっています。

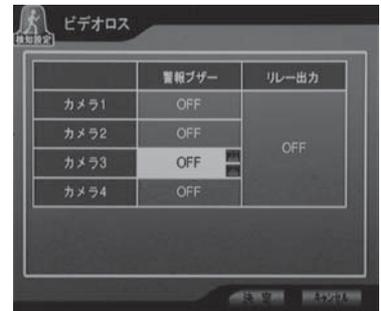
※カメラを接続していないカメラチャンネルは、[OFF] にしてください。



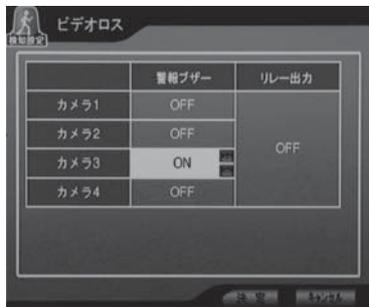
ライブ画面で【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されますが、入力をせずにそのまま【▲▼◀▶】ボタンで【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。*（パスワードを設定後は入力）



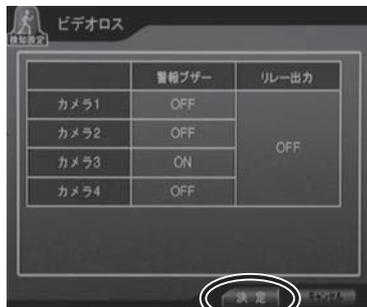
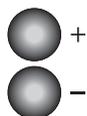
メニュー画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで検知設定項目の【ビデオロス】を選び、【決定】ボタンを押す。



ビデオロス設定画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで [ON] に切り替えたいカメラの [警報ブザー] 項目にあわせませす。*ここでは、[カメラ3] にしています。



【+ -】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



画面上の [終了] を選択し、【決定】ボタンを押す。

※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



※工場出荷状態では、パスワードは設定されていません。

いろいろな機能

◇録画スケジュール

各カメラとも1時間ごとに、[連続録画] [イベント録画] [動体検知録画] [センサー検知録画] [録画しない] の設定が可能です。

(設定・変更の方法  52ページ「スケジュール設定」を参照)

◇外部のパソコンからライブ画面・再生画面の確認をする

インターネット環境にある外部のパソコンから、本製品のライブ画面・再生画面を確認できます。

(設定・変更の方法  67ページ「ネットワークの設定」を参照)

◇センサー・動体検知時やDVRの異常終了時にメールで知らせる

センサー録画・検知録画で検知による録画がスタートした場合や本体が異常終了した場合などに、メールでお知らせすることができます。(1アドレス)

(設定・変更の方法  74ページ「メール送信設定」を参照)

◇録画データをコピーする

記録された録画データの一部をUSBフラッシュメモリにコピーし、パソコンで再生できます。

(設定・変更の方法  86ページ「コピー」を参照)

◇画面上の動きを検知して録画を開始する

映像の動きを検知して録画開始(約10秒)の設定ができます。

「動体検知設定」と「録画スケジュール」の2ヶ所、設定する必要があります。

(設定・変更の方法  52ページ「スケジュール設定」60ページ「動体検知設定」を参照)

◇外部センサーの検知で録画を開始する

外部センサーを接続し、センサーの検知で録画開始(約10秒)ができます。

「センサー設定」と「録画スケジュール」の2ヶ所、設定する必要があります。

(設定・変更の方法  52ページ「スケジュール設定」57ページ「センサー設定」を参照)

◇設置の環境にあわせて、画面の調整をする

カメラごとに、画面の明るさやコントラスト等の調整ができます。

(設定・変更の方法  50ページ「カラー設定」を参照)

◇検知リストからリストを選んで再生する

録画されたデータの中から、検知録画によって検知されたリストを指定して再生することができます。

(設定・変更の方法  78ページ「検知リスト」を参照)

◇HDDの使用容量が100%になったら、録画を停止させる

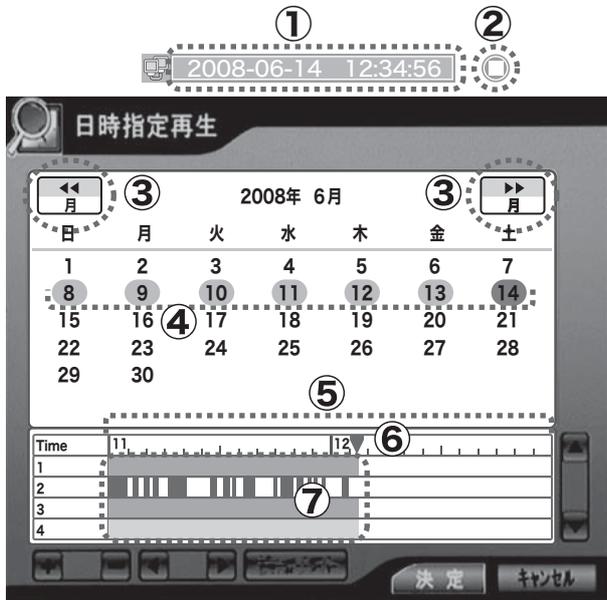
上書きを[NO]に設定すると、HDDの使用容量が100%になった時点で録画を停止させます。

(設定・変更の方法  40ページ「HDD(ハードディスク)」を参照)

再生の操作方法

録画されているデータの再生は、日時指定再生画面および検知リストを使います。

【日時指定再生】画面について



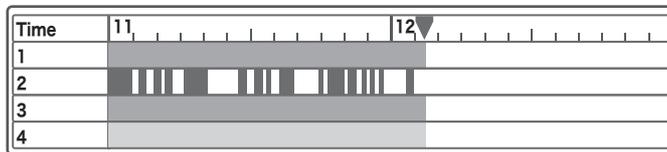
- ① 三角マークが示す時間を表します
- ② 動作状態を表します
- ③ 表示月を変更します
- ④ 録画済みのデータがある日付を表します
- ⑤ 時間帯の表示枠を表します
(表示させる時間を変更できます)
- ⑥ 三角マークを移動して再生する時間を設定します
- ⑦ 録画済みのデータがある時間帯を表します

再生画面を表示させた時点は、
日付：当日がピンク色
三角マーク：画面を表示させた約1分前
 になっています。

■録画の状態

濃紺：イベントでの録画

薄青：録音付きの録画



青：通常の録画

白：録画データなし

■操作方法

◇表示月の変更

ボタンで変更します

◇日付の選択

上下ボタンで選択します
(ピンク色が選択した日付になります)

◇時間の選択

左右ボタンで三角マークを移動させ、
時間を選択します

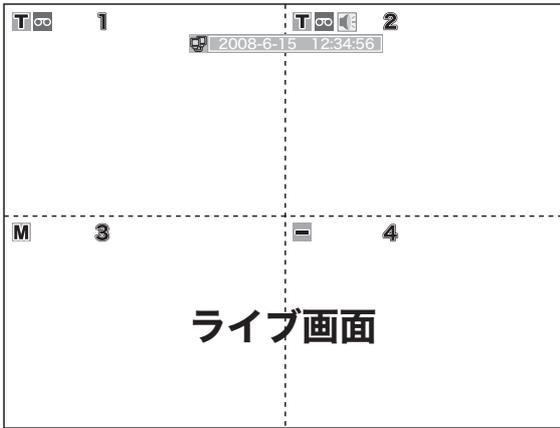
◇時間帯の表示枠の変更

ボタンで変更します

■動作状態の表示について

- 通常再生
- 戻し再生
- 早再生
- 早戻し再生
- 再生停止 (一時停止状態)
- コマ送り

再生の手順



再生



ボタンを押し、日時指定再生画面を表示させます。



再生させたい日時を指定します

月の変更



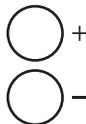
日付の変更

再生させたい日付を選択します。
(日付をピンク色にします)



時間表示枠の変更

必要に応じ、時間帯の枠を調整します。
三角マークを移動させ時間を指定します。

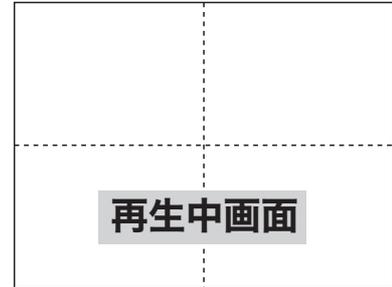


時間の変更

(変更は1分単位になります)
三角マークを移動させ時間を指定します。



画面上部に表示されている月日、時間を確認し決定ボタンを押すと再生がスタートします。



必要に応じて、ボタン操作を行ってください。
ボタン操作12ページを参照

ライブ



ボタンを押すと、ライブ画面に戻ります。

日時指定再生画面が表示されている時に、【メニュー】ボタンを押すと、検知リスト画面が表示されます。

(検知リストからの再生方法は78ページ)

検知リスト画面が表示されている時に、【キャンセル】ボタンを押すと、日時指定再生画面が表示されます。

再生中に、【メニュー】ボタンを押すと「再生検索」のメニュー画面が表示されます。
再生検索・コピー (詳しくは78～85ページ)

「再生検索」のメニュー画面が表示されている時に、【キャンセル】ボタンを押すと再生中に戻ります。

※日時指定再生画面が表示されているときに、キャンセルボタンを押しても日時指定再生画面が消えるだけでライブ画面には戻りません。

再生ボタンを押して、日時指定再生画面を表示させ 再生の操作を行うか、ライブボタンを押して、ライブ画面に戻ってください。

※日付をまたがって再生する場合、日付が変更される瞬間、再生画面が一瞬 とまる場合があります。日付変更の処理を同時に行っているため、再生データに瞬間的な負荷がかかるために起こります。故障ではありません。

再生の操作方法

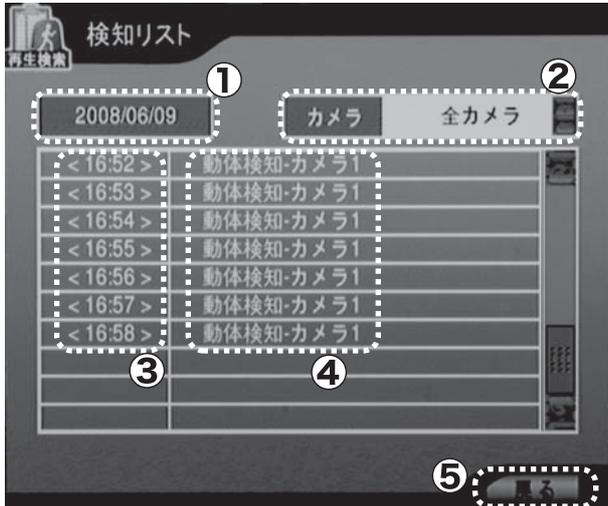
2

使用を開始する
再生の操作方法

検知リストを使用する場合

動体検知録画やセンサー検知録画を設定した場合、動体検知やセンサーが検知した時間のリストを選択して再生することができます。

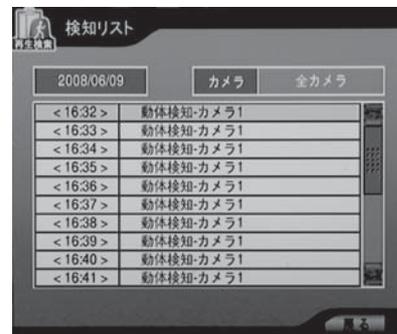
検知リスト画面の確認



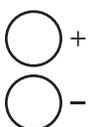
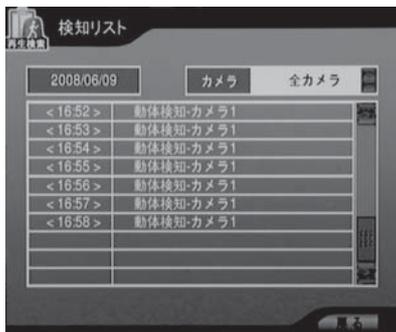
- ① 検索する日付を表します
- ② 対象となるカメラを選択します
- ③ 検知された時間を表します
- ④ 検知の内容を表します
- ⑤ 日時指定再生画面に戻ります

リストは、最新のものが下になるように表示されます。

再生の手順



メニューボタンを押し、検知リスト画面を表示させます



ボタンでカメラを選択します



上下ボタンで対象のリストを選択します



決定ボタンを押すと再生がスタートします

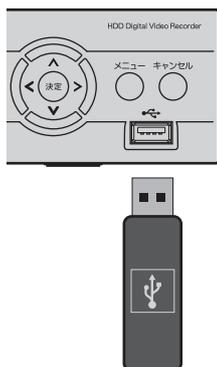
※検知リストは、[日時指定再生]画面で、選択した日付の[検知リスト]が表示されます。
※選択した[検知リスト]以降のリストデータを続けて再生します。

パソコンですぐ再生できる映像データ

本製品は、HDDに記録された録画データの一部をUSBフラッシュメモリに取り出し、パソコンで再生することができます。

本製品はパソコンでの映像再生時に、再生ソフトを必要としません。

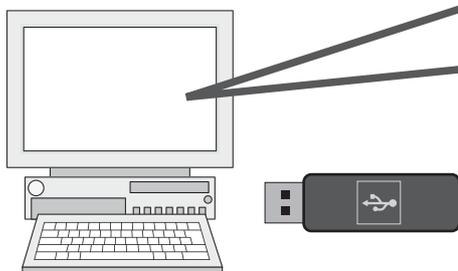
① 映像をコピーする



再生用アプリケーションフォーマットのコピーデータが作成されます。
再生するパソコンに再生用のソフト等をインストールする必要がありません。

(設定・変更の方法  82ページ「コピー」を参照)

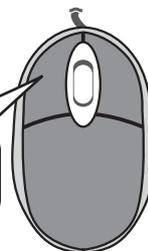
② USBフラッシュメモリをパソコンに差し込む



データをダブルクリックする



ダブルクリック



③ すぐに再生操作画面が表示されます。



(操作方法  87ページ「操作画面の説明」を参照)

初期設定内容

本製品の各設定項目（メニュー）は下表の内容です。

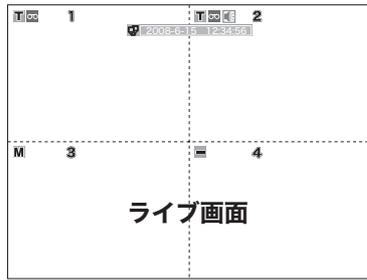
メニュー	項目	初期の設定内容	選択範囲など
システム	システム		
	画面切替時間	2 秒	1 ～ 60 秒
	画面出力	テレビ	テレビ / LCD
	マーク表示	ON	ON / OFF
	ループアウトチャンネル	1	1 ～ 4 / 本体画面 / 自動切換
	ボタン操作音	ON	ON / OFF
	バージョン	—	—
	MAC アドレス	—	本製品の MAC アドレスが表示されます
	パスワード		
	旧パスワード	(空欄)	—
	新パスワード	—	※ 任意の 10 桁の数字を入力できます
	新パスワード確認	—	—
	HDD		
	サイズ	232.1GB	—
	使用率	—	—
	上書き	YES	YES / NO
	日時設定		
	年月日	—	—
	時間	—	—
	初期化		
	履歴リスト削除	—	履歴リストが削除されます
	設定初期化	—	各項目の設定が初期化（工場出荷値に戻る）されます
	検知リスト・HDD 初期化	—	検知リストと録画データが削除されます
工場出荷値	—	工場出荷状態に戻ります	
カメラ	カメラ設定		
	名前	1 ～ 4	任意の 10 桁の数・文字が入力できます
	録画	ON	ON / OFF
	録画フレーム	7・7・8・8	[30] [15] [10] [8] [7] [5] [3] [1] (4 チャンネルの合計が 30 以内)
	録音	OFF	OFF / ON
	画質	高	高 / 中 / 低
	総フレーム数	30	4 チャンネルの合計が表示されます
	カラー設定		
	カメラ	1 ～ 4	1 ～ 4
	明度	25	1 ～ 50
	コントラスト	25	1 ～ 50
	彩度	25	1 ～ 50
	色相	25	1 ～ 50
	画面設定		
	不透明度	44	1 ～ 50
	位置	—	—

メニュー	項目	初期の設定内容	選択範囲など
スケジュール		すべて T (録画)	T: 録画 E: 検知録画 (動体検知 + センサー) M: 動体検知 S: センサー -: 録画せず
	検知設定		
	センサー		
	センサー設定	N.O	N.O / N.C
	警報ブザー	OFF	OFF / ON
	リレー出力	OFF	OFF / ON ※ 1 出力
	動体検知		
	検知感度	3	1 ~ 5
	警報ブザー	OFF	OFF / ON
	検知範囲	全エリア検知	-
	リレー出力	OFF	OFF / ON ※ 1 出力
	ビデオロス		
	警報ブザー	OFF	OFF / ON
	リレー出力	OFF	OFF / ON ※ 1 出力
ネットワーク	TCP / IP		
	設定方法	自動取得	自動取得 / 固定 IP
	IP アドレス	000.000.000.000	-
	サブネットマスク	---	-
	ゲートウェイ	---	-
	DNS	---	-
	メール送信		
	メール使用	OFF	OFF / 認証 / 非認証
	SMTP サーバー	-	-
	ポート	-	-
	アカウント	-	-
	パスワード	-	-
	送信者	-	-
	受信者	-	-
	メールフィルタ		
	ログイン	ON	ON / OFF
	電源オフ	ON	ON / OFF
	センサー検知	ON	ON / OFF
	動体検知	ON	ON / OFF
	ビデオロス	ON	ON / OFF
HDD 異常	ON	ON / OFF	
異常終了	ON	ON / OFF	

注) 時間の数字は目安です。

メニュー画面の表示方法

1 



ライブ画面で、【メニュー】ボタンを押す。

2 



パスワード入力画面が表示されます。【▲▼】ボタンで[決定] を選択します。

初期設定時、パスワードは設定されていないので、入力の必要はありません。

3 



※画面は、初期設定状態の場合

【決定】ボタンを押す。

設定を確認させない場合は、【▲▼】ボタンで画面上の[キャンセル] を選択し、【決定】ボタンを押す。キャンセル操作をした場合、最初からやり直してください。

4



メニュー画面が表示されます。

各項目の設定方法については、次のページからの「各項目の設定」をご覧ください。

◆パスワード設定後の入力方法

パスワード入力画面の入力部分で【決定】ボタンを押す。数字入力パレットが表示されます。【▲▼◀▶】ボタンでパスワードの数字を選択し、【決定】ボタンを押して数字を入力していきます。
《注》入力した数字は「*」で表示されます。
《注》パスワードは、数字 10 桁まで設定可能です。



←数字入力パレット

CapsLock	※ここでは使用しません。
Delete	選択中の 1 文字を削除します。
Clear	入力した文字をすべて消去します。
◀	カーソルが左に移動します。
▶	カーソルが右に移動します。
Backspace	カーソル左側の 1 文字を削除します。
Space	※ここでは使用しません。
EXIT	数字入力パレットを終了します。

◆数字入力パレットを使わない入力方法

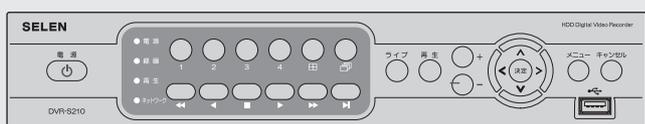
パスワードの入力は、他に、本体ボタンまたはリモコンを使用した入力方法があります。

数字入力パレットと本体ボタン、リモコンの対応は、下の表をご確認ください。↓数字入力パレット対応表

《注》直接入力の場合は、入力した数字の修正ができません。キャンセルをして、メニュー画面から再度入力し直してください。

数字入力パレット	本体ボタン	リモコン	
		ボタン	数字ボタン
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	田	田	5
6	㊦	㊦	6
7	◀◀	◀◀	7
8	◀	◀	8
9	■	■	9
0	▶	▶	0
◀			
▶			

各項目の設定



■システム設定

画面切替表示時間の長さを変更したり、画面上のマーク表示の「ON/OFF」、ボタン操作音のON/OFFなどを設定変更するときに使います。

項目	初期の設定内容	内容（範囲、切替内容）
画面切替時間	2秒	画面切替時間を設定します。 *設定範囲：約1～60秒。
画面出力	テレビ	画面出力を設定します。 *切替：テレビ/LCD
マーク表示	ON	マークの画面表示を設定します。 *切替：ON / OFF
ループアウトチャンネル	1	ループアウトするチャンネルを設定します。 切替：1～4、本体画面、自動切換
ボタン操作音	ON	ボタン操作音のオン・オフを設定します。 切替：ON / OFF
バージョン	412.....	製品のバージョンを表示します（製品により異なります）。
MACアドレス	00:.....	製品のMACアドレスを表示します（製品により異なります）。

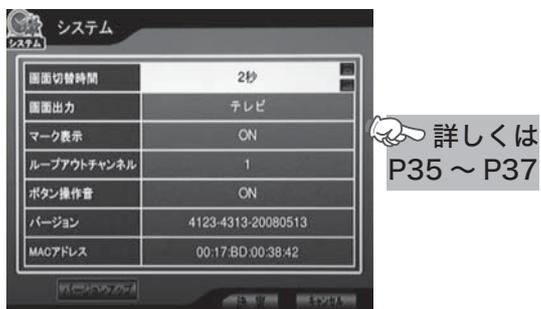
システム設定画面を表示する

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。（パスワード未設定の場合）【▲▼】ボタンで画面上の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
※「メニュー画面の表示方法」は、P32をご覧ください。

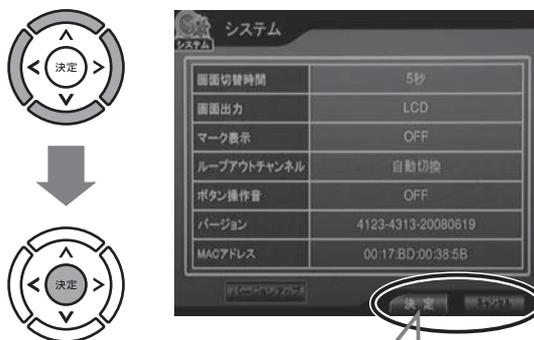
2 【▲▼◀▶】ボタンでシステム項目の【システム】を選び、【決定】ボタンを押す。



3 システム設定画面が表示されます。それぞれの項目の設定を行ってください。

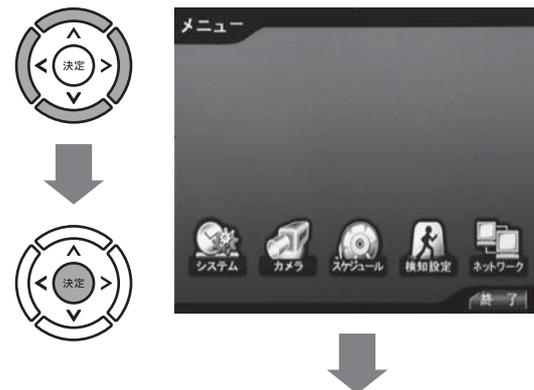


4 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

5 メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。
※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



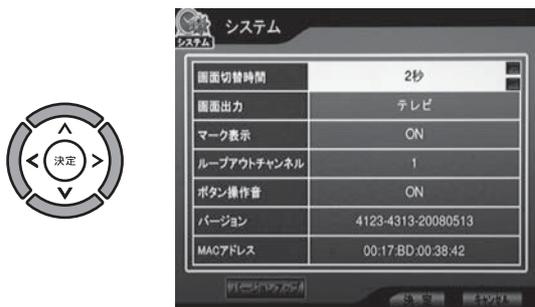
ライブ画面に戻ります。

自動切替表示の時間を変える

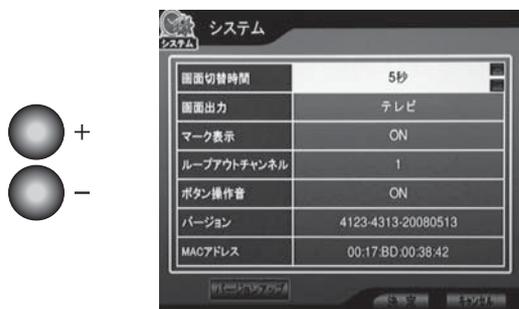
ライブ画面を 1 画面ずつ自動切替表示する場合に、画面を切り替える時間の長さを設定できます。

例 切替時間を [5 秒] に設定する場合

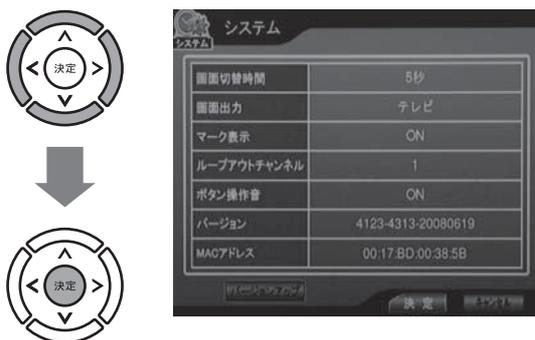
1 P34 を参考にシステム設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで [画面切替時間] にあわせませす。



2 【+-】ボタンを押して時間を [5] に合わせます。



3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

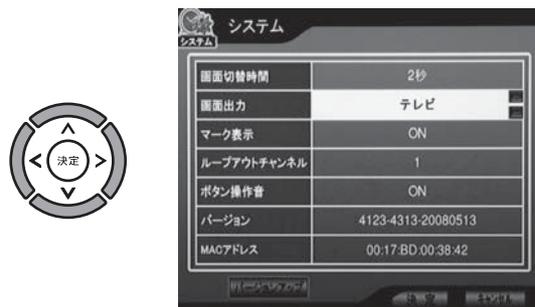


画面出力を変更する

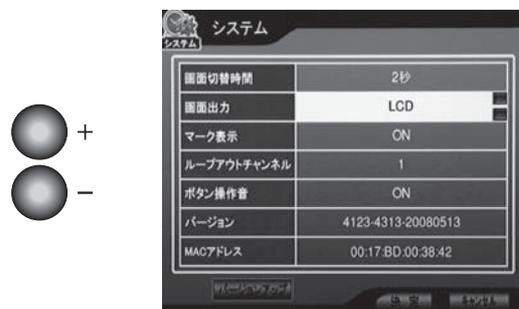
TV に接続する場合は [テレビ]、PC モニターに接続する場合は [LCD] に設定します。

例 画面出力を [LCD] に設定する場合

1 P34 を参考にシステム設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで [画面出力] にあわせませす。



2 【+-】ボタンを押すと [LCD] [テレビ] が交互に変わります。



3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

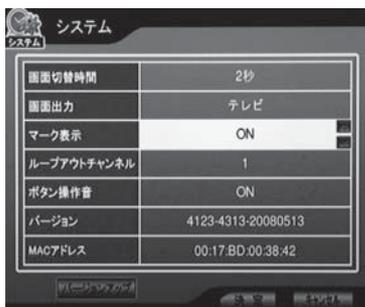


マーク表示 (する / しない)

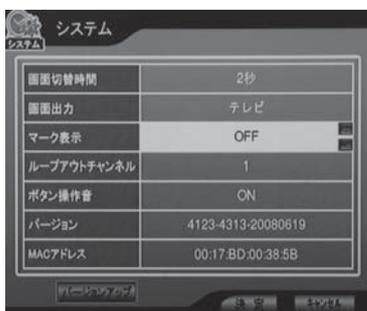
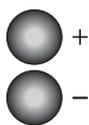
カメラチャンネル名、録画状態など、画面上のマークを「表示する = ON」、「表示しない = OFF」に切り替えます。

例 マーク表示を [OFF] に変更する場合

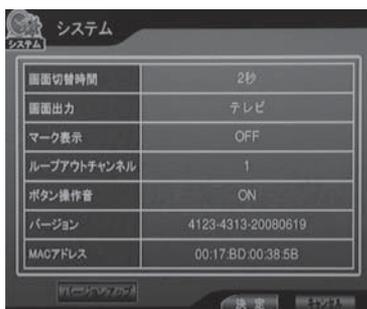
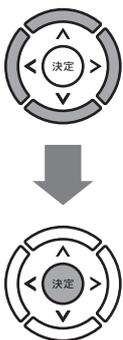
- 1 P34 を参考にシステム設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで [マーク表示] にあわせませす。



- 2 【+-】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



- 3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

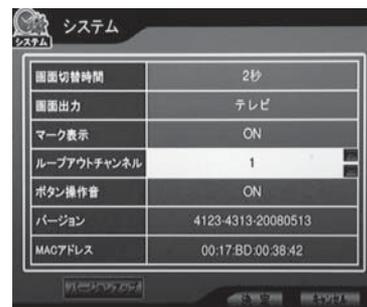


ループアウトチャンネル

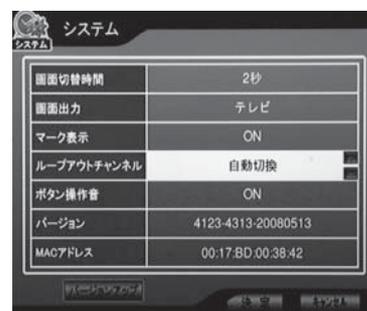
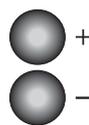
スポット出力端子から出力されるスルー映像を選択できます。

例 ループアウトチャンネルを [自動切換] に切り替える場合

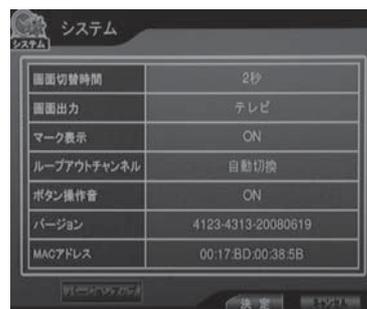
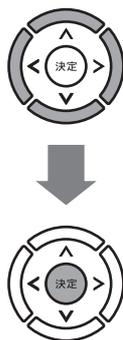
- 1 P34 を参考にシステム設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで [ループアウトチャンネル] にあわせませす。



- 2 【+-】ボタンを押すごとに [1] ⇄ [2] ⇄ [3] ⇄ [4] ⇄ [本体画面] ⇄ [自動切換] が切り替わります。



- 3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



ボタン操作音(出す / 出さない)

本体の操作音を「出す＝ON」、「出さない＝OFF」に切り替えます。

例 ボタン操作音を【OFF】に変更する場合

- 1 P34 を参考にシステム設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで [ボタン操作音] にあわせませす。



システム	
画面切替時間	2秒
画面出力	テレビ
マーク表示	ON
ループアウトチャンネル	1
ボタン操作音	ON
バージョン	4123-4313-20080513
MACアドレス	00:17:BD:00:38:42

バージョン・MAC アドレス

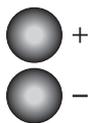
本製品のバージョンと MAC アドレスが表示されます。

- 1 P34 を参考にシステム設定画面を表示させます。

システム	
画面切替時間	2秒
画面出力	テレビ
マーク表示	ON
ループアウトチャンネル	1
ボタン操作音	OFF
バージョン	4123-4313-20080513
MACアドレス	00:17:BD:00:38:42

本製品のバージョンと MAC アドレスが表示されます。

- 2 【+】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



システム	
画面切替時間	2秒
画面出力	テレビ
マーク表示	ON
ループアウトチャンネル	1
ボタン操作音	OFF
バージョン	4123-4313-20080513
MACアドレス	00:17:BD:00:38:42

- 2 【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



システム	
画面切替時間	2秒
画面出力	テレビ
マーク表示	ON
ループアウトチャンネル	1
ボタン操作音	OFF
バージョン	4123-4313-20080513
MACアドレス	00:17:BD:00:38:42

- 3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



システム	
画面切替時間	2秒
画面出力	テレビ
マーク表示	ON
ループアウトチャンネル	1
ボタン操作音	OFF
バージョン	4123-4313-20080513
MACアドレス	00:17:BD:00:38:42

■パスワードを変更する

メニューに入るときのパスワードを設定します。※初期の設定は空欄になっています。

《注》設定後、パスワードがわからなくなるとメニュー画面に入ることができなくなります。設定したパスワードはお忘れにならないようご注意ください。

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合)【▲▼】ボタンで画面上的【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32 をご覧ください。

2 【▲▼◀▶】ボタンでメニュー画面上的システム項目の【パスワード】を選び、【決定】ボタンを押す。

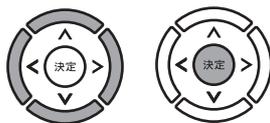


3 パスワード変更画面が表示されます。パスワード変更画面上的パスワード入力部分で【決定】ボタンを押す。



旧パスワード	初期の設定は、空欄になっています。
新パスワード	新しいパスワードを入力します。(10文字以内)
新パスワード確認	確認のため、新パスワードに入力した文字を再度入力します。

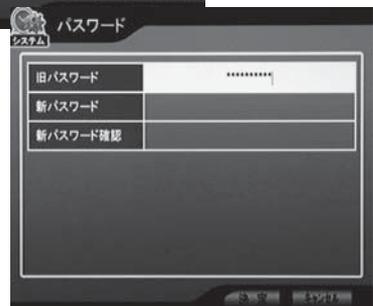
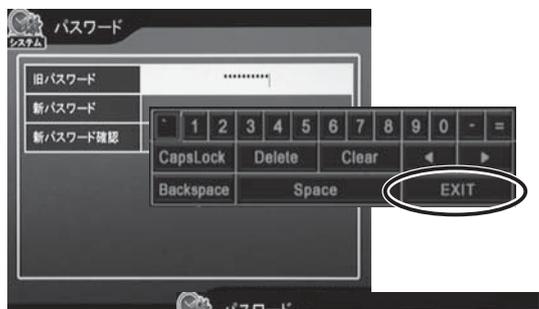
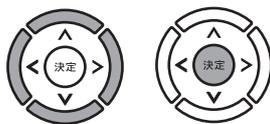
4 数字入力パレットが表示されます。【▲▼】ボタンで選択部分(ピンク色)を移動させ、【決定】ボタンで数字を入力します。



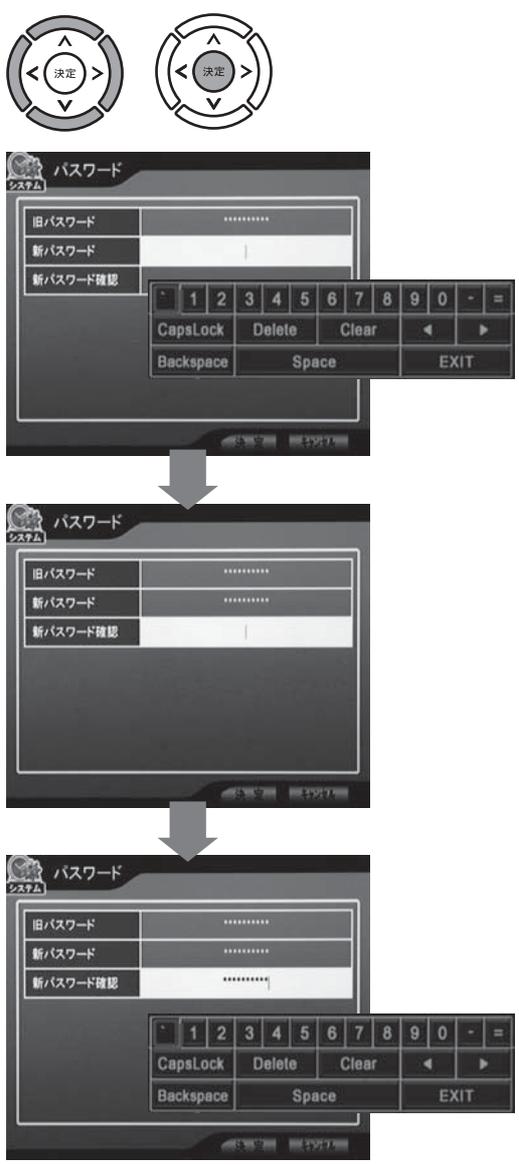
CapsLock	※ここでは使用しません。
Delete	選択中の1文字を削除します。
Clear	入力した文字をすべて消去します。
◀	カーソルが左に移動します。
▶	カーソルが右に移動します。
Backspace	カーソル左側の1文字を削除します。
Space	※ここでは使用しません。
EXIT	数字入力パレットを終了します。

《注》パスワードは、数字10個まで設定可能です。
《注》入力した数字はすべて「*」で表示されます。

5 入力が終わったら、数字入力パレット上の【EXIT】を選択し、【決定】ボタンを押すと、数字入力パレットが終了します。



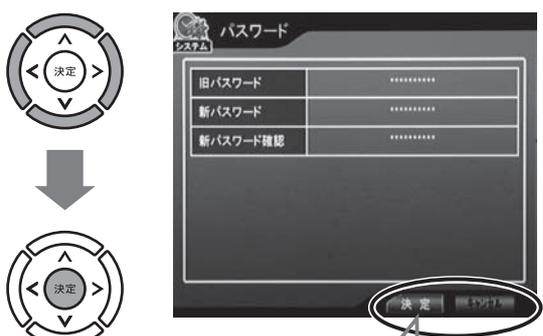
6 【▲▼】ボタンで画面上の「新パスワード」項目にあわせ、「旧パスワード」と同じ要領で入力します。「新パスワード確認」も同様に入力します。



8 メニュー画面に戻ります。画面上の「終了」を選択し、「決定」ボタンを押す。



7 入力が終了したら、【▲▼】ボタンで画面上の「決定」を選択し、「決定」ボタンを押す。設定を確定させない場合は、画面上の「キャンセル」を選択し、「決定」ボタンを押す。



注 画面上の「決定」を選択し、「決定」ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

◆数字入力パレットを使わない入力方法

パスワードの入力は、数字パレットで入力する方法の他に、本体ボタンまたはリモコンを使用した入力方法があります。パスワード変更画面が表示されたときに、「旧パスワード」、「新パスワード」、「新パスワード確認」入力欄でそれぞれ直接入力ができます。数字入力パレットと本体ボタン、リモコンの対応は、下の表をご確認ください。

《注》 直接入力の場合は、入力した数字の修正ができません。キャンセルをして、メニュー画面から再度入力し直してください。

■数字入力パレット対応表

数字入力パレット	本体ボタン	リモコン	
		ボタン	数字ボタン
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	田	田	5
6	口	口	6
7	◀◀	◀◀	7
8	◀	◀	8
9	■	■	9
0	▶	▶	0
◀	決定		
▶			

■ HDD (ハードディスク) の上書き設定

HDD の情報を表示します。また、HDD の使用率が 100% になったときに録画データを上書きするか、しないかを設定します。

例 上書き設定を [NO] に変更する場合

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合) 【▲▼】ボタンで画面上の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32 をご覧ください。

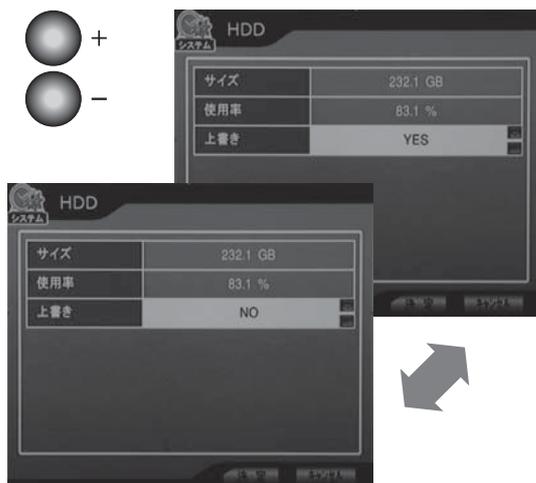
2 【▲▼◀▶】ボタンでシステム項目の【HDD】を選び、【決定】ボタンを押すと HDD 画面が表示されます。



3 【サイズ】【使用率】は、HDD 設定画面で確認します。上書き設定の変更は、【上書き】項目で【+-】ボタンを押すごとに【YES】【NO】が切り替わります。

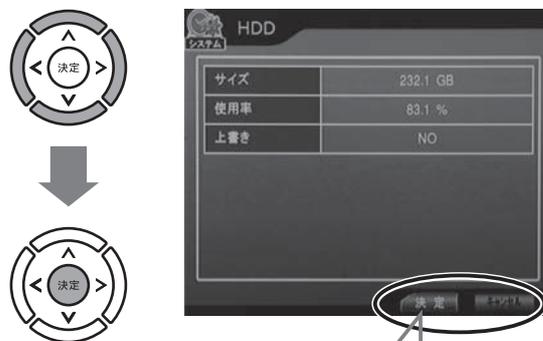
上書きする = 【YES】

上書きしない = 【NO】



4 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。

設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

5 メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。

※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



ライブ画面に戻ります。

■ 日時設定

現在の日時を設定するときに使います。
時刻は 24 時間表示になっています。

項目	表示 (例)	内容
年月日	2008/00/00	年/月/日を設定します。
時間	00:00:00	時・分・秒を設定します。 (24 時間表示)

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合) 【▲▼】ボタンで画面上の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32 をご覧ください。

2 【▲▼◀▶】ボタンでシステム項目の【日時設定】を選び、【決定】ボタンを押すと日時設定画面が表示されます。



3 【▲▼◀▶】ボタンで変更したい数字を選択し、【+-】ボタンで数字を切り替えます。また、数字入力パレットを使用して入力することもできます。P94「いろいろな数字入力方法」をご覧ください。

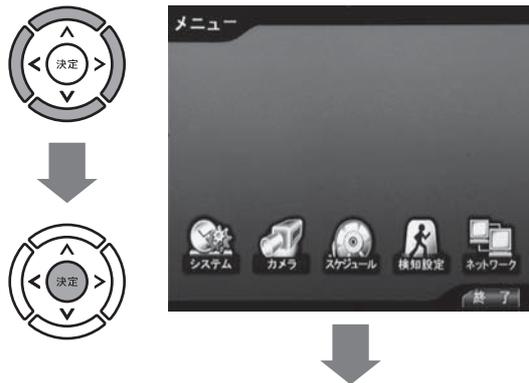


4 入力が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

5 メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。



ライブ画面に戻ります。

■初期化

履歴情報、設定内容、検知リスト・HDD 保存データを消去するときに使用します。また、すべての設定、保存内容を消去して本製品を工場出荷状態にすることもできます。

【履歴リスト削除】

=履歴データを消去します。

【設定初期化】

=設定内容を工場出荷時設定に戻します。

【検知リスト・HDD 初期化】

=保存された映像データを消去します。

【工場出荷値】

=すべての設定・データを消去し、本製品を工場出荷状態に戻します。

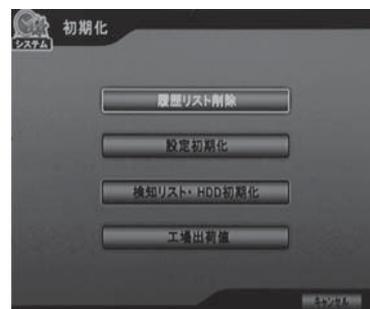
1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合)【▲▼】ボタンで画面中の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32 をご覧ください。

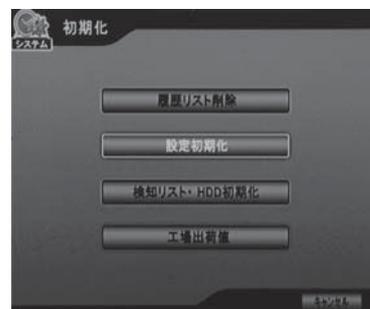
2 【▲▼◀▶】ボタンでシステム項目の【初期化】を選び、【決定】ボタンを押す。



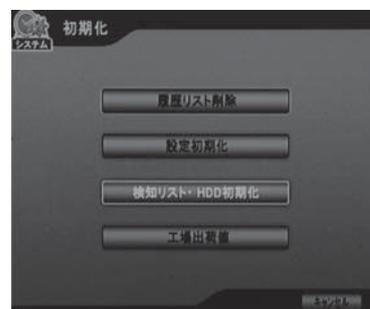
3 初期化設定画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで初期化したい項目を選択し、【決定】ボタンを押す。



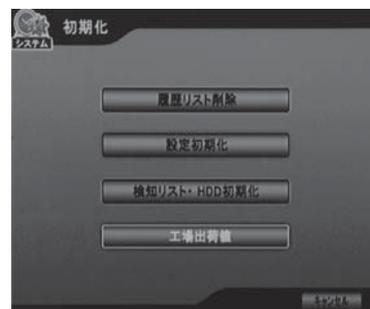
【履歴リスト削除】を選択



【設定初期化】を選択

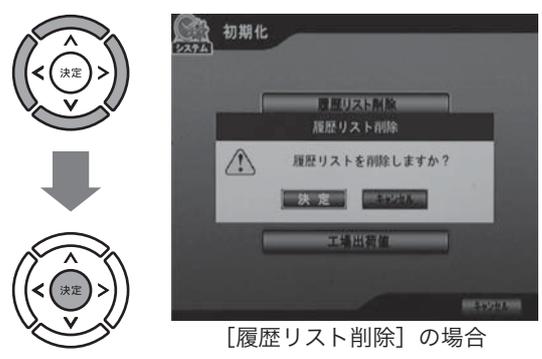


【検知リスト・HDD 初期化】を選択



【工場出荷値】を選択

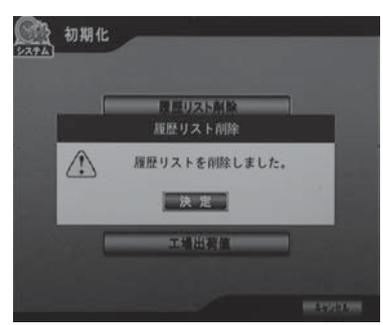
4 確認画面が表示されます。画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押す。
設定を確定させない場合は、画面上の [キャンセル] を選択し、【決定】ボタンを押す。



【履歴リスト削除】の場合

【履歴リスト削除】の場合

5 【履歴リストを削除しました】が表示されたら、【決定】ボタンを押す。



【履歴リスト削除】以外の場合

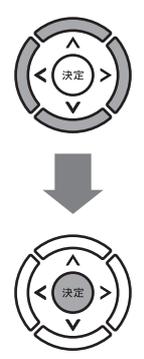
5 再起動を開始します。
数分後、ライブ画面に戻ります。



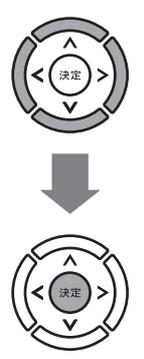
ライブ画面に戻ります。

【キャンセル】の場合

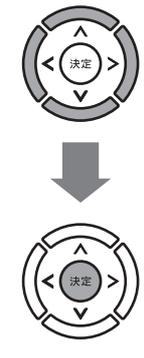
6 初期化設定画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで [キャンセル] を選択し、【決定】ボタンを押す。



5 初期化設定画面に戻ります。【▲▼◀▶】ボタンで [キャンセル] を選択し、【決定】ボタンを押す。

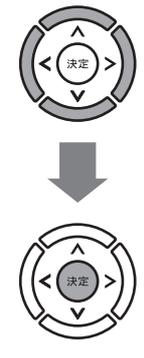


7 メニュー画面に戻ります。画面上の [終了] を選択し、【決定】ボタンを押す。
※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



ライブ画面に戻ります。

6 メニュー画面に戻ります。画面上の [終了] を選択し、【決定】ボタンを押す。
※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



ライブ画面に戻ります。

■カメラ設定

各カメラの名前を変更したり、カメラごとの録画フレームの設定や、カメラごとに録画のオン/オフの設定等のときに使います。

項目	初期の設定内容	内容
名前	1～4	
録画	ON	録画するときは [ON]、録画しないときは [OFF] に設定します。
録画フレーム	7・7・8・8 ※左からカメラ1⇒4	録画するフレーム数を設定します。 設定は [30] [15] [10] [8] [7] [5] [3] [1] の8段階があります。
録音	OFF	録音するときは [ON]、録音しないときは [OFF] に設定します。 ※録音は1チャンネルのみになります。複数のチャンネルを同時に録音することはできません
画質	高	録画の画質を設定します。設定は [高] [中] [低] の3段階があります。 [高] の設定が一番きれいな画質になります。
総フレーム数	30	各カメラごとに設定された録画フレームの総数を表示します。 ※各カメラの設定を変更すると、自動的に総フレーム数も変更されます。

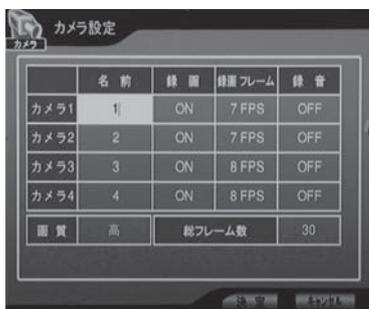
カメラ設定画面を表示する

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合)【▲▼】ボタンで画面上の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
※「メニュー画面の表示方法」は、P32をご覧ください。

2 【▲▼◀▶】ボタンでカメラ項目の【カメラ設定】を選び、【決定】ボタンを押す。



3 カメラ設定画面が表示されます。それぞれの項目の設定を行ってください。

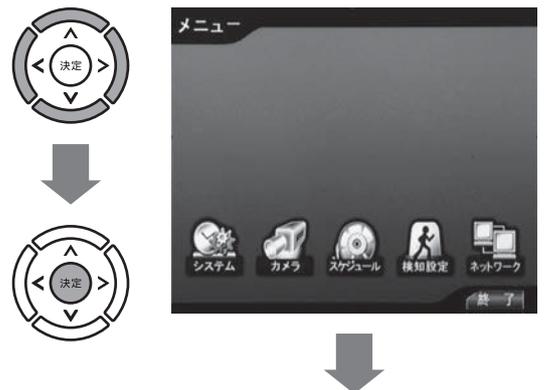


4 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。
設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

5 メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。
※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



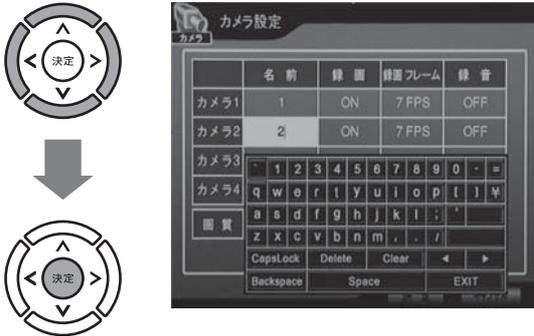
ライブ画面に戻ります。

カメラの名前を変更する

各カメラの名前を変更することができます。

例 【カメラ2】 の名前を "genkan" に変更する場合

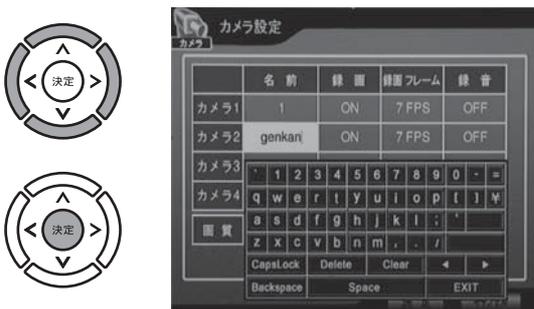
1 P44 を参考にカメラ設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで名前を変更したいカメラの名前（初期設定の場合【2】）にあわせて【決定】ボタンを押す。文字入力パレットが表示されます。



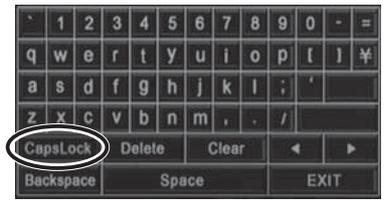
2 【▲▼◀▶】ボタンで選択部分（ピンク色）を【Clear】にあわせ、【決定】ボタンを押す。表示されている名前が消去されます。「genkan」となるよう、アルファベットを順に入力していきます。



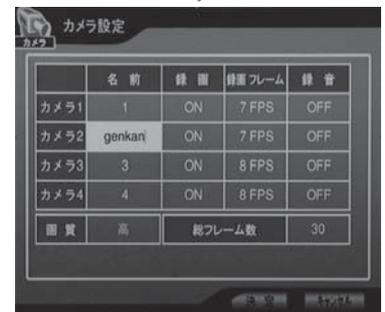
3 数字・文字・記号の入力は、【▲▼◀▶】ボタンで選択部分（ピンク色）を移動させ、【決定】ボタンで入力します。



文字入力パレットは、画面上の【Capslock】を選択し、【決定】ボタンを押すごとに文字表示が切り替わります。

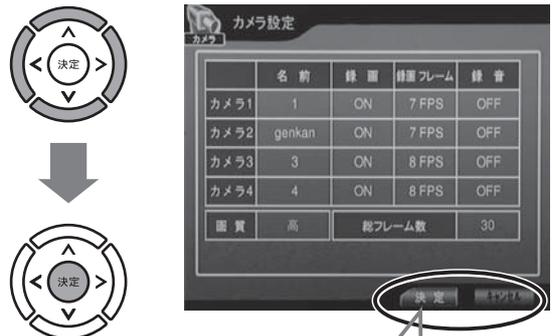


4 入力が終わったら、文字入力パレット上の【EXIT】を選択し、【決定】ボタンを押すと、文字入力パレットが終了します。



5 入力が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。

設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

録画の [ON]、[OFF] を切り替える

各カメラ毎に録画「する= ON」「しない= OFF」を切り替えることができます。

初期の設定内容は、カメラの接続・未接続にかかわらず、**すべてのチャンネルを録画する設定になっています。**

接続するカメラが4台未満の場合は、接続しないカメラチャンネルの「録画」の設定を [OFF] に変更し、接続したカメラチャンネルのフレーム数を増やすことにより再生時に、よりスムーズな映像を見ることができます。

※「録画」が、全チャンネル [ON] に設定されている場合、カメラが接続されていないチャンネルにおいても、録画時にフレームが使用されます。

例 [カメラ3] の録画を [OFF] にする場合

1 P44 を参考にカメラ設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】で [ON] [OFF] を切り替えたいカメラの録画項目（初期設定の場合 [ON]）にあわせませす。



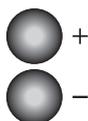
名前	録画	録画フレーム	録音
カメラ1	ON	7 FPS	OFF
カメラ2	ON	7 FPS	OFF
カメラ3	ON	8 FPS	OFF
カメラ4	ON	8 FPS	OFF
画質	高	総フレーム数	30

3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】で画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



名前	録画	録画フレーム	録音
カメラ1	ON	7 FPS	OFF
カメラ2	ON	7 FPS	OFF
カメラ3	OFF	OFF	OFF
カメラ4	ON	8 FPS	OFF
画質	高	総フレーム数	22

2 【+-】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



名前	録画	録画フレーム	録音
カメラ1	ON	7 FPS	OFF
カメラ2	ON	7 FPS	OFF
カメラ3	OFF	OFF	OFF
カメラ4	ON	8 FPS	OFF
画質	高	総フレーム数	22

「録画」の設定を [OFF] に設定すると、そのカメラの [録画フレーム] が自動的に [OFF] に設定され、[総フレーム数] も自動的に減ります。

カメラが未接続の場合の画面表示

録画の設定が「OFF」の場合



録画の設定が「ON」の場合、ブルーバックに [ビデオロス] が表示されます。



録画フレーム数を変更する

各カメラごとに、録画フレーム数の設定ができます。

「フレーム」とは、1秒間に録画するコマの数のことで、この数が多いほど動きがスムーズな映像を録画することができます。《注》録画するフレーム数の合計は、最大 30 フレームです。

録画時間の目安

画質	総フレーム数							
	30	15	10	8	7	5	3	1
高	10.0 日	13.5 日	15.3 日	17.2 日	18.9 日	25.2 日	41.4 日	124 日
中	11.7 日	18.0 日	20.7 日	24.9 日	26.1 日	34.2 日	55.8 日	167 日
低	13.5 日	20.7 日	23.4 日	26.8 日	27.9 日	37.8 日	62.1 日	184 日

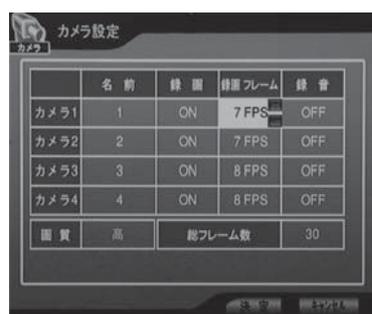
※ 24 時間連続録画、録音設定が [OFF] カメラを接続していないチャンネルの録画設定を [OFF] にした場合

◇上記の時間は、あくまでも目安です。入力される映像の色・明るさ・動き等で録画可能な時間は異なります。また、録音する場合は録画時間が上記の表より若干短くなります。

◇本製品はカメラごとに録画フレーム数を設定できる仕様のため、複数のカメラを接続した場合、各カメラの録画フレーム数の組み合わせによっては上記の表の数にならない場合があります。

例 【カメラ 1】の録画フレーム数を【5】に設定する場合

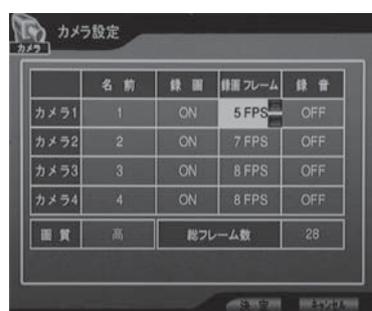
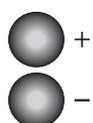
1 P44 を参考にカメラ設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】で録画フレームを変更したいカメラの録画フレーム項目（初期設定の場合 [7]）にあわせませす。



3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



2 【+-】ボタンを押すごとにフレーム数が切り替わります。

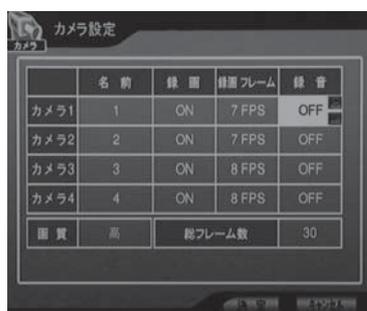


録音する

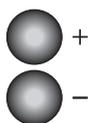
録音「する=ON」「しない=OFF」を切り替えることができます。※録音の設定は1系統のみになります。複数のチャンネルを[ON]に設定することはできません

例 [カメラ1] の録音を [ON] にする場合

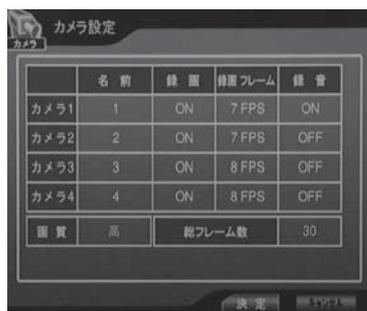
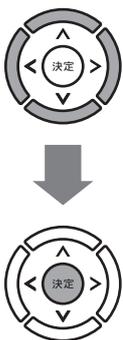
- 1 P44 を参考にカメラ設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで録音したいカメラの録音項目（初期設定の場合 [OFF]）にあわせませす。



- 2 【+-】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



- 3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

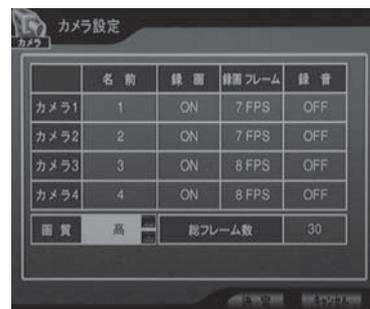


画質を変更する

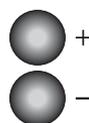
録画の画質を切り替えることができます。画質を落とすことにより、映像は粗くなりますが、より長い時間録画することが可能になります。

例 録画画質を [中] にする場合

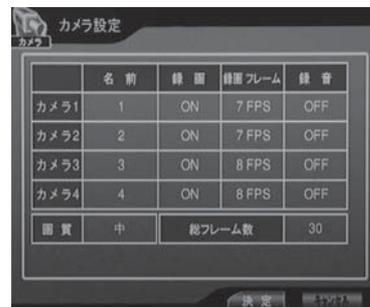
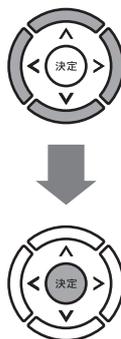
- 1 P44 を参考にカメラ設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで画質項目（初期設定の場合 [高]）にあわせませす。



- 2 【+-】ボタンを押すごとに [高] [中] [低] が切り替わります。なお、画質の設定はすべてのカメラで一定となり、個々のカメラで異なった画質の設定をすることはできません。



- 3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



■カラー設定

カメラごとに表示画面の明度やコントラストなどを調整することができます。カメラの設置環境にあわせて、映像の見やすい設定に変更できます。モニター画面を見ながら調整してください。

項目	初期の設定内容	内容
カメラ	1～4	カメラ [1] [2] [3] [4] を選択します。
明度	25	[1] ～ [50] まで設定することができます。数字が大きいくほど明度が上がります。
コントラスト	25	[1] ～ [50] まで設定することができます。数字が大きいくほどコントラストが上がります。
彩度	25	[1] ～ [50] まで設定することができます。数字が大きいくほど彩度が上がります。
色相	25	[1] ～ [50] まで設定することができます。数字が大きいくほど色相が上がります。

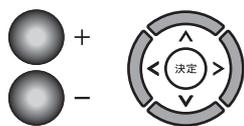
1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合) 【▲▼】ボタンで画面上の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32をご覧ください。

2 【▲▼◀▶】ボタンでカメラ項目の【カラー設定】を選び、【決定】ボタンを押す。

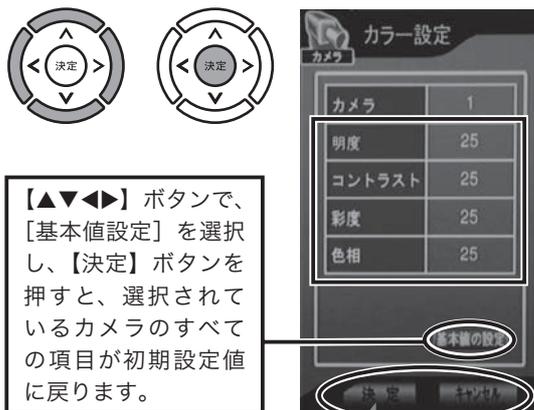


3 カラー設定画面が表示されます。【+-】ボタンで調整したいカメラにあわせませす。



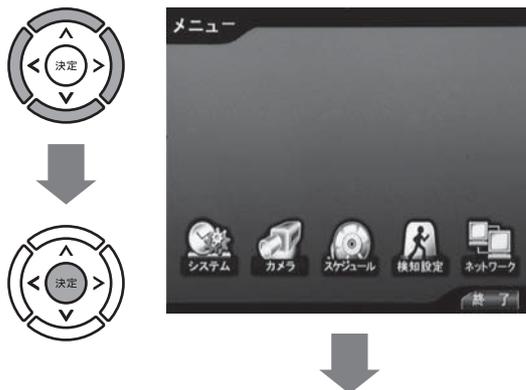
【▲▼◀▶】ボタンで、[明度] [コントラスト] [彩度] [色相] それぞれ設定したい項目を選択し、【+-】ボタンで数値を変更します。

4 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

5 メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。
※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



ライブ画面に戻ります。

■ 画面設定

モニターに表示されるメニュー画面の不透明度と、モニター内の画面位置を変更できます。

項目	初期の設定内容	内容
不透明度	44	[1] ~ [50] まで設定することができます。数字が小さいほど背景が透けて見えます。

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合) 【▲▼】ボタンで画面上の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
※「メニュー画面の表示方法」は、P32をご覧ください。

例 ▶ で【決定】ボタンを3回押す。モニター内表示が右へ3コマ移動します。

モニター

2 【▲▼◀▶】ボタンでカメラ項目の【画面】を選び、【決定】ボタンを押す。



4 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。

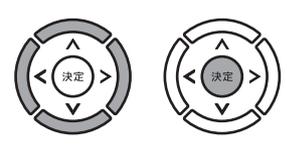
【▲▼◀▶】ボタンで、【基本値設定】を選択し、【決定】ボタンを押すと、選択されているカメラのすべての項目が初期設定値に戻ります。

注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

3 画面設定画面が表示されます。【+-】ボタンで【不透明度】の数値を変更します。



画面位置の調整は、【▲▼◀▶】ボタンで、【▲】【▼】【◀】【▶】表示部分を選択して、【決定】ボタンを押す。【決定】ボタンを押すごとにモニター上の画面が移動します。



5 メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。
※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



ライブ画面に戻ります。

■スケジュール設定

カメラごとに1時間単位で録画の方法を設定することができます。

設定できる録画の方法は下記の内容です。

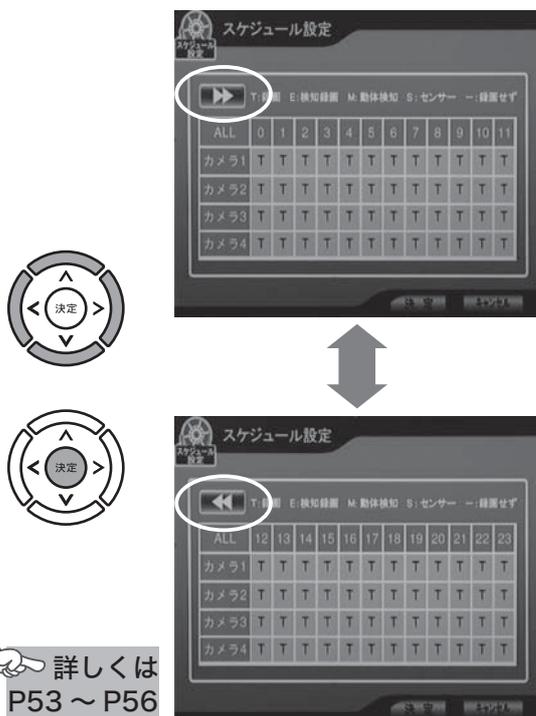
1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合)【▲▼】ボタンで画面上の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32をご覧ください。

2 【▲▼◀▶】ボタンでスケジュール項目の【スケジュール設定】を選び、【決定】ボタンを押す。



3 スケジュール設定画面が表示されます。【◀】【▶】を選択して【決定】ボタンを押すごとに「0時～11時」、「12時～23時」の設定画面に切り替わります。



表示	内容
T	通常の録画をします。
E	動体検知、および、センサー検知のときに録画します。
M	動体検知のときに録画します。
S	センサー検知のときに録画します。
-	録画を停止します。

《注》「0」の欄は「0時～1時(1時は含まず)」、「23」の欄は「23時～0時(0時は含まず)」の時間帯です。

《注》「0時～11時」と「12時～23時」の設定は、それぞれの表示に設定して変更してください。

4 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。

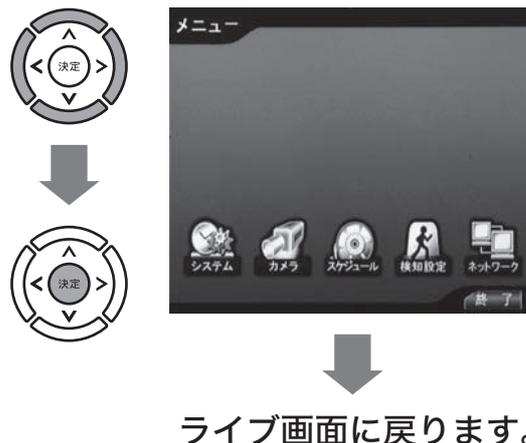
設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

5 メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。

※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



ライブ画面に戻ります。

スケジュールの設定方法①

すべてのカメラの半日の時間帯を一度に、同じ設定をすることができます。

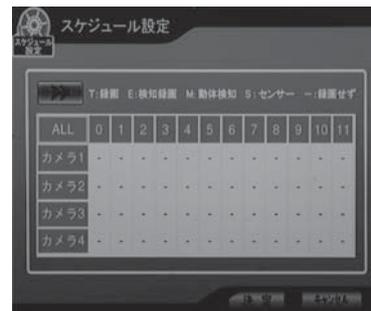
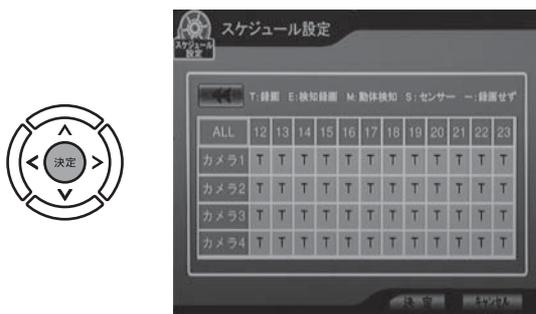
例 0時～11時までのすべてのカメラを【M（動体検知のときに録画）】に変更する場合

1 P52を参考にスケジュール設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで【ALL】にあわせませす。



2 【決定】ボタンを押すごとに、【T】⇒【E】⇒【M】⇒【S】⇒【-】⇒【T】の順に表示が変わります。

《注》順番は設定されている内容により異なります。



《注》「0」の欄は「0時～1時（1時は含まず）」、「23」の欄は「23時～0時（0時は含まず）」の時間帯です。

《注》「0時～11時」と「12時～23時」の設定は、それぞれの表示に設定して変更してください。

3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



スケジュールの設定方法②

カメラごとに半日の時間帯すべてを一度に設定することができます。

例 [カメラ1]の0時～11時までのすべてを [M(動体検知のときに録画)] に変更する場合

1 P52を参考にスケジュール設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで [カメラ1] にあわせませす。



2 【決定】ボタンを押すごとに、[T] ⇒ [E] ⇒ [M] ⇒ [S] ⇒ [-] ⇒ [T] の順に表示が変わります。
《注》順番は設定されている内容により異なります。



《注》「0」の欄は「0時～1時(1時は含まず)」、「23」の欄は「23時～0時(0時は含まず)」の時間帯です。

《注》「0時～11時」と「12時～23時」の設定は、それぞれの表示に設定して変更してください。

3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



スケジュールの設定方法③

時間帯別にすべてのカメラを一度に設定することができます。

例 カメラすべての10時の欄(10時から11時まで{11時含まず})を[S(センサー検知のときに録画)]に変更する場合

1 P52を参考にスケジュール設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで「10」にあわせませす。



2 【決定】ボタンを押すごとに、[T] ⇒ [E] ⇒ [M] ⇒ [S] ⇒ [-] ⇒ [T] の順に表示が変わります。
《注》順番は設定されている内容により異なります。



《注》「0」の欄は「0時～1時(1時は含まず)」、「23」の欄は「23時～0時(0時は含まず)」の時間帯です。
《注》「0時～11時」と「12時～23時」の設定は、それぞれの表示に設定して変更してください。

3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の「決定」を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



スケジュールの設定方法④

カメラごと、時間帯ごとにスケジュールを設定することができます。

例 [カメラ2] の11時の欄を [－ (録画を停止)] に変更する場合

1 P52を参考にスケジュール設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで [カメラ2] の11時の欄にあわせませす。



2 【決定】ボタンを押すごとに、[T] ⇒ [E] ⇒ [M] ⇒ [S] ⇒ [－] ⇒ [T] の順に表示が変わります。
《注》順番は設定されている内容により異なります。



《注》「0」の欄は「0時～1時（1時は含まず）」、「23」の欄は「23時～0時（0時は含まず）」の時間帯です。

《注》「0時～11時」と「12時～23時」の設定は、それぞれの表示に設定して変更してください。

3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



■ センサー設定

背面のセンサー接続部に接続するセンサーのタイプの設定、センサーが検知したときの警報の有無、検知したときのリレー出力の有無が設定できます。

項目	初期の設定内容	内容
センサー設定	N.O	接続するセンサーのタイプを設定します。[N.O] 開回路、[N.C] 閉回路
警報ブザー	OFF	センサーが検知したときの警報ブザーの [ON]、[OFF] を設定します。
リレー出力	OFF	センサーが検知したときのリレー出力の [ON]、[OFF] を設定します。

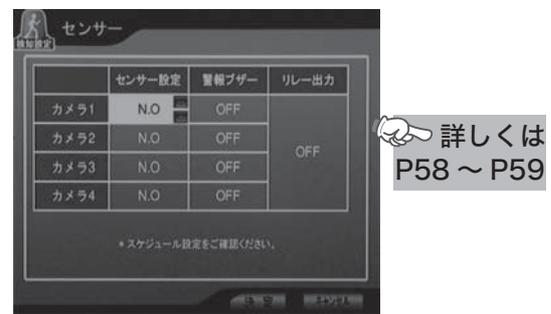
センサー設定画面を表示する

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合)【▲▼】ボタンで画面上的【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
※「メニュー画面の表示方法」は、P32 をご覧ください。

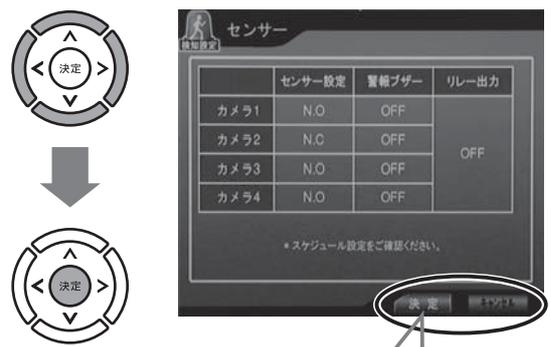
2 【▲▼◀▶】ボタンで検知設定項目の【センサー】を選び、【決定】ボタンを押す。



3 センサー設定画面が表示されます。それぞれの項目の設定を行ってください。

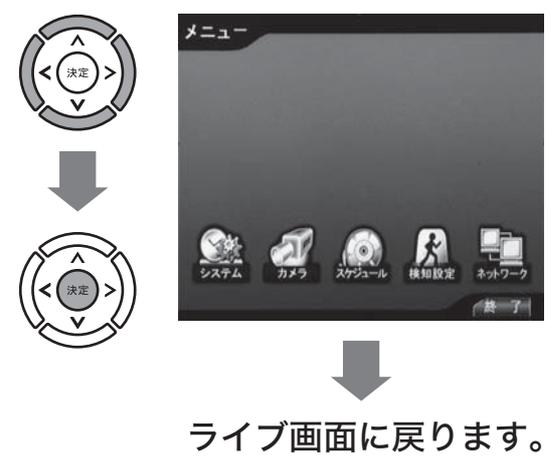


4 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上的【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。設定を確定させない場合は、画面上的【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上的【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

5 メニュー画面に戻ります。画面上的【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。
※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



ライブ画面に戻ります。

センサーのタイプを変更する

接続するセンサーのタイプを変更します。
初期の設定は [N.O] になっています。

[N.O] = 通常回路が開回路のセンサー

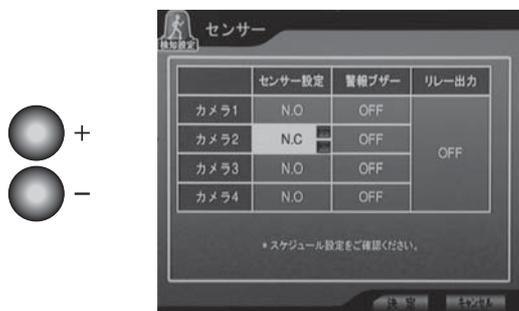
[N.C] = 通常回路が閉回路のセンサー

例 [カメラ 2] のセンサー設定を [N.O] から [N.C] に変更する場合

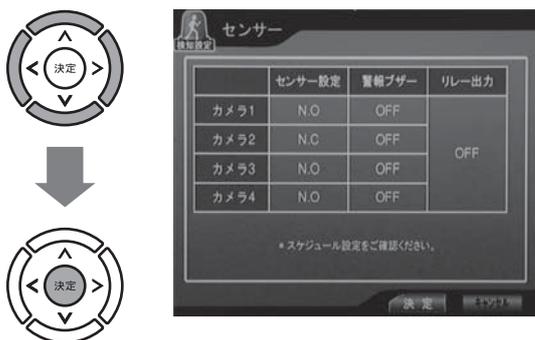
- 1 P57 を参考にセンサー設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンでセンサー設定を変更したいカメラ（初期設定の場合 [N.O]）にあわせませす。



- 2 【+-】ボタンを押すごとに [N.O] [N.C] が切り替わります。



- 3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



警報ブザーの [ON]、[OFF] を切り替える

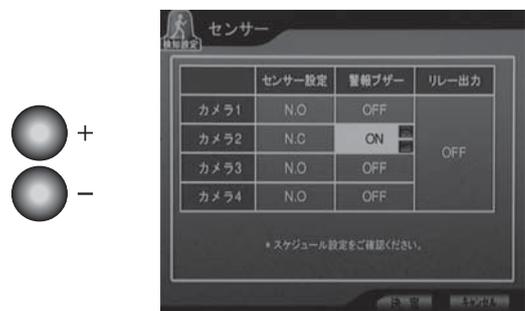
検知したときに本体の警報ブザーを鳴らすことができます。

例 [カメラ 2] の警報ブザー設定を [OFF] から [ON] にする場合

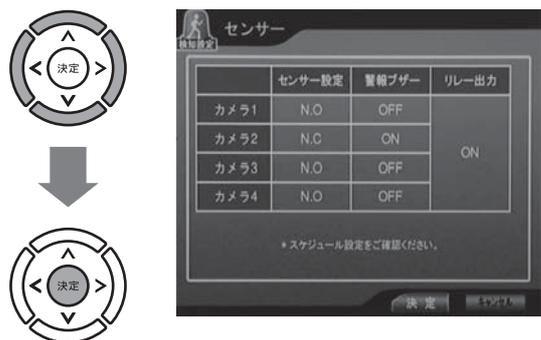
- 1 P57 を参考にセンサー設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで警報ブザー設定を変更したいカメラ（初期設定の場合 [OFF]）にあわせませす。



- 2 【+-】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



- 3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

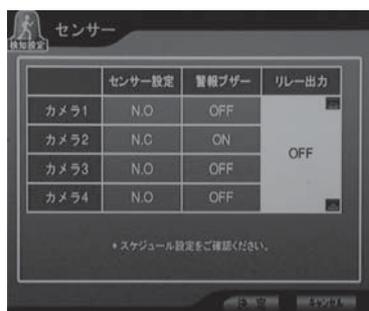


リレー出力を設定する

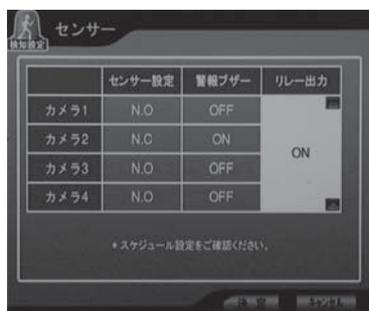
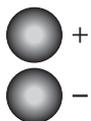
検知したときにリレー出力をするか、しないかの設定ができます。

例 リレー出力設定を [OFF] から [ON] に変更する場合

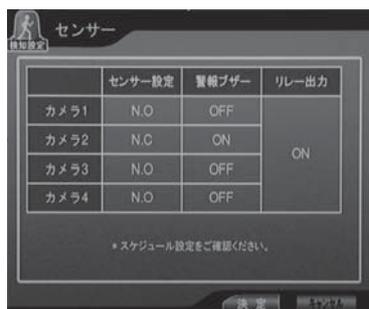
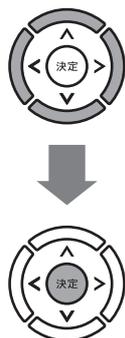
- 1** P57 を参考にセンサー設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンでリレー出力（初期設定の場合 [OFF]）にあわせませす。



- 2** 【+-】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



- 3** 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



■ 動体検知設定

映像に動きがあった場合に、録画を開始する設定を行います。
各チャンネルごとに検知の感度、検知したときの警報の有無、検知範囲を設定できます。
また検知したときのリレー出力が設定できます。

項目	初期の設定内容	内容
検知感度	3	検知する感度を設定します。1 < 2 < 3 < 4 < 5 の順で高くなります。
警報ブザー	OFF	ブザーを鳴らすときは [ON]、鳴らさないときは [OFF] に設定します。
検知範囲	すべての範囲	検知させる範囲を設定します。
リレー出力	OFF	検知したときのリレーの [ON]、[OFF] を設定します。 ※リレーは 1 系統のみになります。

※動体検知での録画は、この設定の他に [録画スケジュール] で、録画する時間帯の録画設定を動体検知の [M] または検知録画 [E] に設定する必要があります。

動体検知設定画面を表示する

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。
パスワード入力画面が表示されます。(パスワード未設定の場合)【▲▼】ボタンで画面上の [決定] を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
※「メニュー画面の表示方法」は、P32 をご覧ください。

2 【▲▼◀▶】ボタンで検知設定項目の [動体検知] を選び、【決定】ボタンを押す。

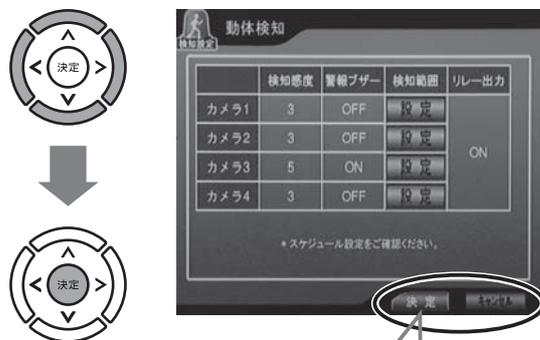


3 動体検知設定画面が表示されます。それぞれの項目の設定を行ってください。



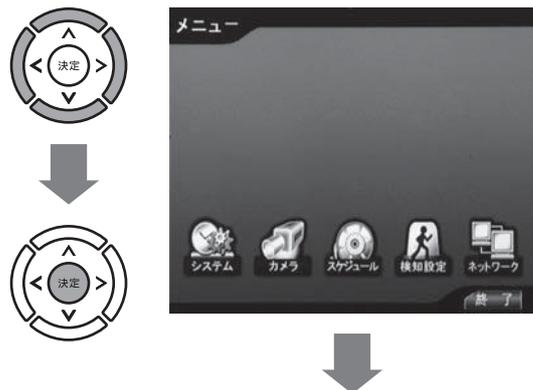
詳しくは
P61 ~ P64

4 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押す。
設定を確定させない場合は、画面上の [キャンセル] を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

5 メニュー画面に戻ります。画面上の [終了] を選択し、【決定】ボタンを押す。
※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



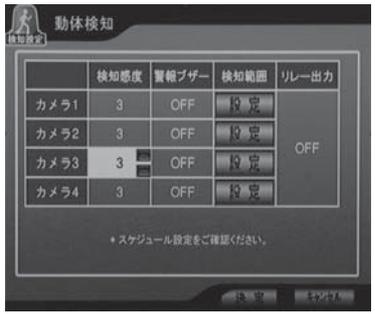
ライブ画面に戻ります。

検知する感度を変更する

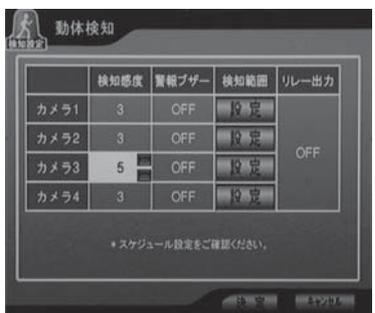
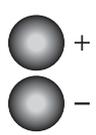
各カメラごとに検知感度を変更することができます。

例【カメラ3】の検知感度を【5】に変更する場合

1 P60 を参考に動体検知画面を表示させます。
【▲▼◀▶】ボタンで感度を変更したいカメラの検知感度（初期設定の場合【3】）にあわせ

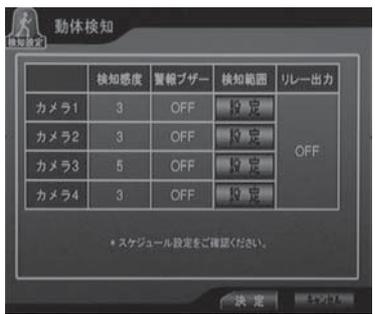
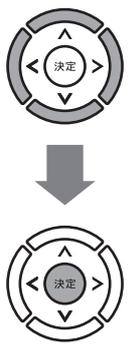


2 【+-】ボタンで感度を変更します。



検知感度は数字が大きいほど検知しやすくなります。設定範囲は「1」～「5」です。

3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



警報ブザーを鳴らす

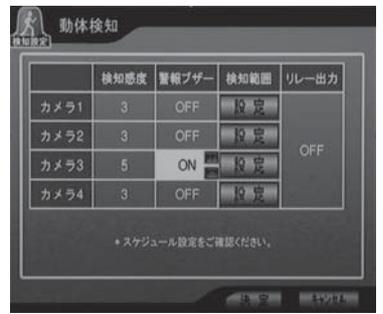
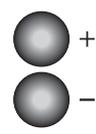
検知したときに本体の警報ブザーを鳴らすことができます。

例【カメラ3】の警報ブザーを【ON】にする場合

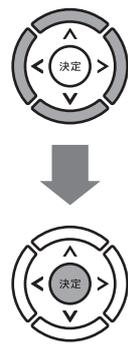
1 P60 を参考に動体検知画面を表示させます。
【▲▼◀▶】ボタンで【ON】【OFF】を切り替えたいカメラの警報ブザーにあわせ



2 【+-】ボタンを押すごとに【ON】【OFF】が切り替わります。



3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



検知する範囲を変更する

各カメラごとに検知範囲を変更することができます。初期値はすべての範囲で検知する設定になっています。

例 一部分の範囲を検知しない範囲に変更する場合

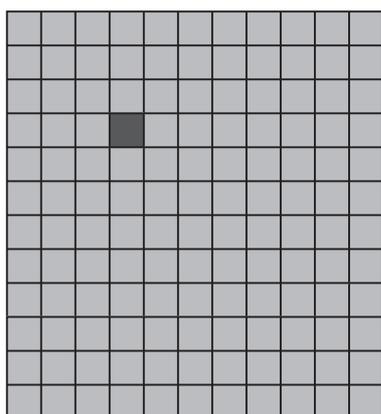
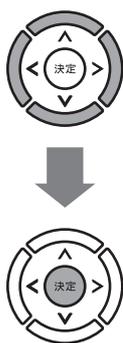
1 P60 を参考に動体検知画面を表示させます。
【▲▼◀▶】ボタンで検知範囲を変更したいカメラの [設定] にあわせて【決定】ボタンを押します。



2 検知範囲を設定する画面が表示されます。(初期設定時は、「すべて検知する」になっています。)

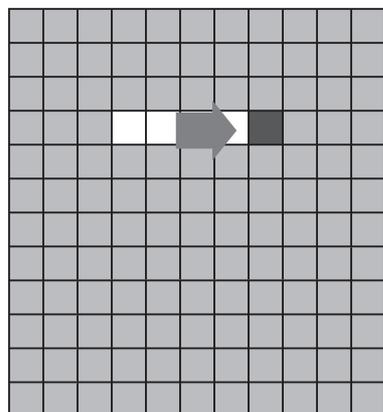
緑色の部分が検知する範囲です。オレンジ色で点滅している部分は映っている映像を検知している部分です。ピンク色のブロックを移動して設定します。

3 【▲▼◀▶】ボタンでピンク色のブロックを変更する箇所へ移動します。【決定】ボタンで始点を決定します。

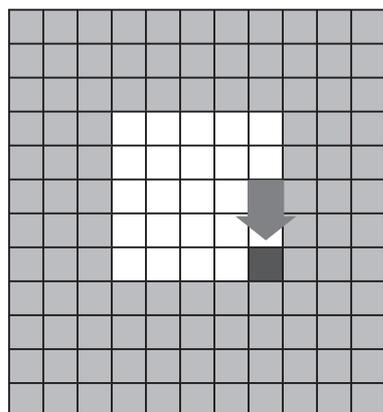


4 【▲▼◀▶】ボタンで変更する範囲を選択していきます。ピンク色のブロックが移動すると、移動した範囲の緑色の部分が消えていきます。

例 ▶▶▶ ボタンでブロックを右側に移動させると連続して、緑色の部分が消えます。



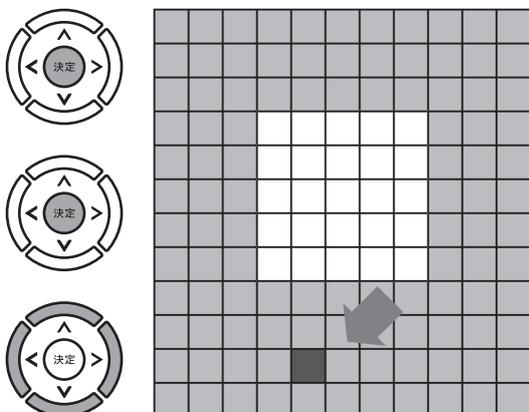
例 ▶▶▶ ボタンでブロックを右側に移動させた後、【▼】ボタンを押していくと帯の範囲で範囲を設定できます。



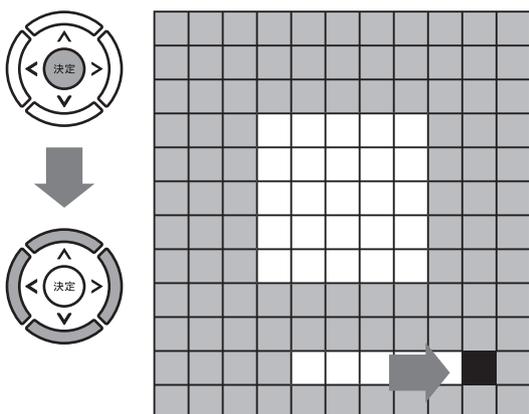
《注》ブロックは、【決定】ボタンを押すごとに、「検知しない」⇒「検知する」⇒「移動」に切り替わります。また、一度移動した範囲は、ブロックを戻してもブロックの状態では範囲を選択します。やり直す場合は、【決定】ボタンを押して、ブロックの状態を切り替えてから再度ブロックを移動してください。

複数の範囲を選択する場合

1つめの範囲を選択した際の終点で、【決定】ボタンをゆっくり2回押し、ブロックを次の選択範囲の始点へ移動します。



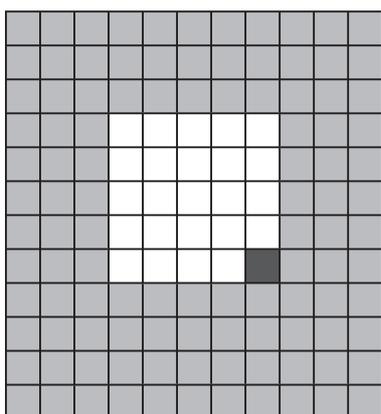
【決定】ボタンを押して、再度範囲を選びます。



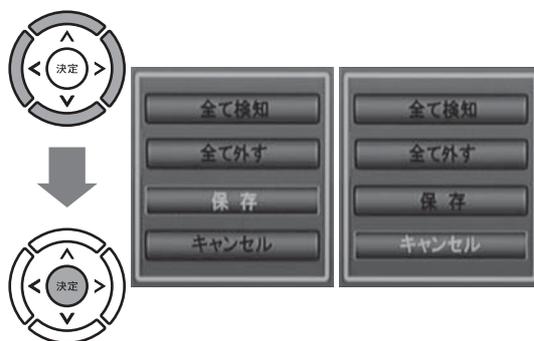
同じ要領で繰り返し、選択できます。

5 検知範囲を選び終わったら、【メニュー】ボタンを押す。

メニュー



6 パレットが表示されますので、【▲▼◀▶】ボタンで[保存]を選択し【決定】ボタンを押し、設定内容を保存します。
設定を確定させない場合は、画面上の[キャンセル]を選択し、【決定】ボタンを押す。



すべての範囲を一度に選択することも可能です

パレットには、すべての範囲を一度に選択することができる[全て検知][全て外す]項目があります。【▲▼◀▶】ボタンで画面上の項目を選択し、【決定】ボタンを押すと、画面はパレット表示のまますべての検知範囲の色が変わります。

※一度すべての範囲を設定した後に、検知範囲の選択をやり直したいときは、6の操作で一度、[保存]を行い、検知範囲設定画面から再度、範囲設定をしてください。



7 検知範囲の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。
設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

リレー出力を設定する

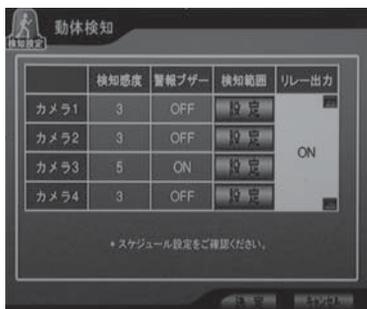
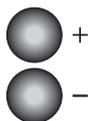
検知したときにリレー出力をするか、しないかの設定ができます。

例 リレー出力設定を [OFF] から [ON] に変更する場合

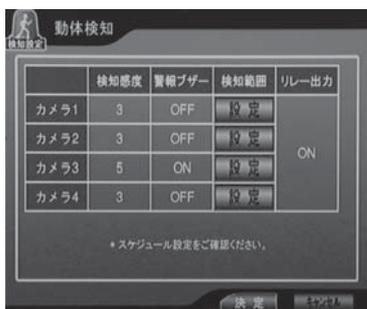
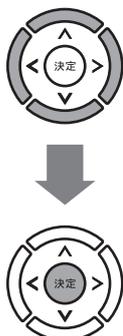
- 1 P60 を参考に動体検知設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンでリレー出力（初期設定の場合 [OFF]）にあわせませす。



- 2 【+-】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



- 3 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



■ビデオロス設定

カメラ入力（カメラ信号）がないときの警報の有無、検知したときのリレー出力の有無が設定できます。

項目	初期の設定内容	内容
警報ブザー	OFF	カメラ入力（カメラ信号）がないときの警報ブザーの [ON]、[OFF] を設定します。
リレー出力	OFF	カメラ入力（カメラ信号）がないときのリレー出力の [ON]、[OFF] を設定します。

初期設定では、すべてのカメラのチャンネルが [OFF] になっています。カメラを接続したチャンネルの設定を [ON] に変更してください。

ビデオロス設定画面を表示する

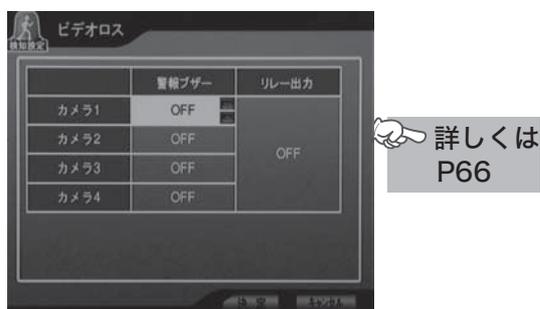
1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。（パスワード未設定の場合）【▲▼】ボタンで画面上の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32 をご覧ください。

2 【▲▼◀▶】ボタンで検知設定項目の【ビデオロス】を選び、【決定】ボタンを押す。

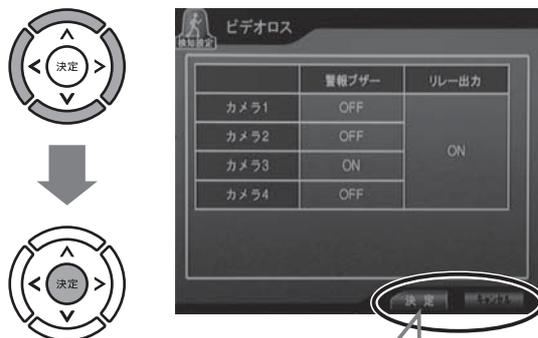


3 ビデオロス設定画面が表示されます。それぞれの項目の設定を行ってください。



4 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。

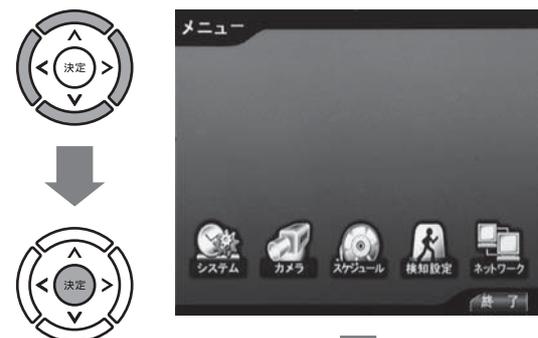
設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

5 メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。

※変更した設定は、ライブ画面に戻った時点で反映されます。



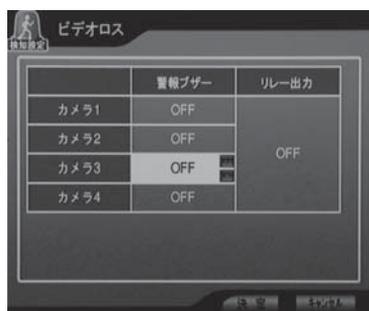
ライブ画面に戻ります。

警報ブザーを鳴らす

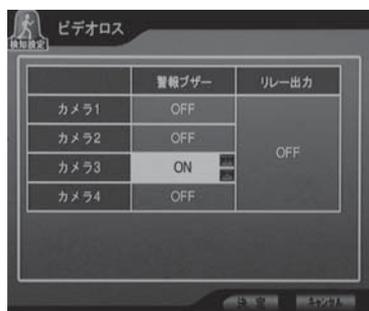
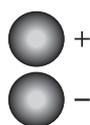
カメラ信号がないことを検知したときに、本体の警報ブザーを鳴らすことができます。

例 [カメラ 3] の警報ブザー設定を [OFF] から [ON] にする場合

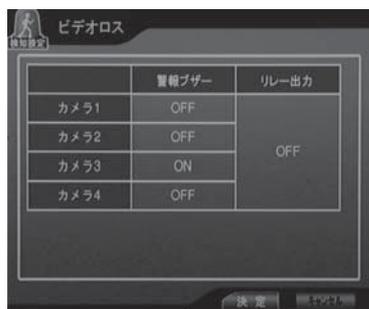
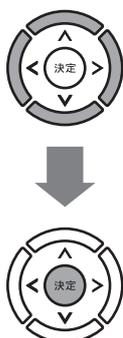
- 1** P65 を参考にビデオロス画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンで [ON] [OFF] を切り替えたいカメラの警報ブザー（初期設定の場合 [OFF]）にあわせませす。



- 2** 【+-】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



- 3** 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

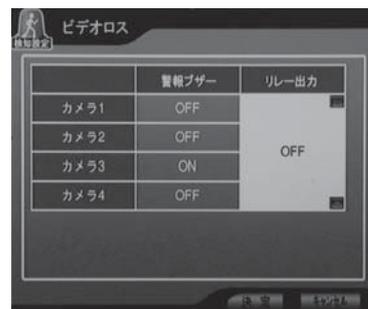


リレー出力を設定する

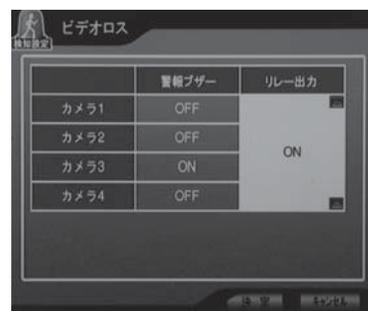
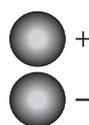
カメラ信号がないことを検知したときに、リレー出力をするか、しないかの設定ができます。

例 リレー出力設定を [OFF] から [ON] に変更する場合

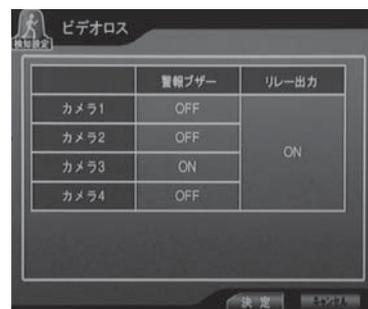
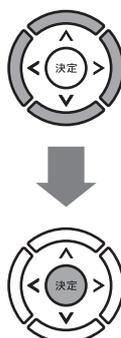
- 1** P65 を参考にビデオロス設定画面を表示させます。【▲▼◀▶】ボタンでリレー出力（初期設定の場合 [OFF]）にあわせませす。

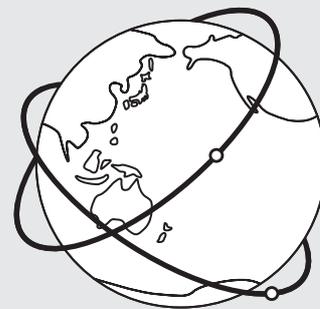


- 2** 【+-】ボタンを押すごとに [ON] [OFF] が切り替わります。



- 3** 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



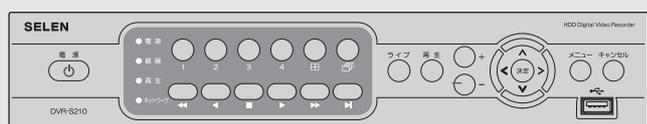


ネットワークの設定

ネットワークの構築にあたっては、別冊の「遠隔操作ガイド」をあわせてご覧ください。

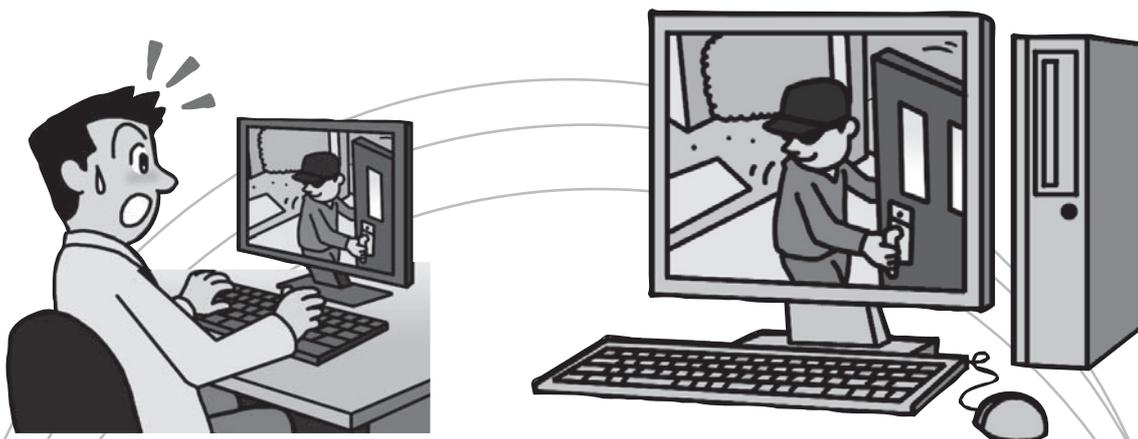
4

ネットワークの設定

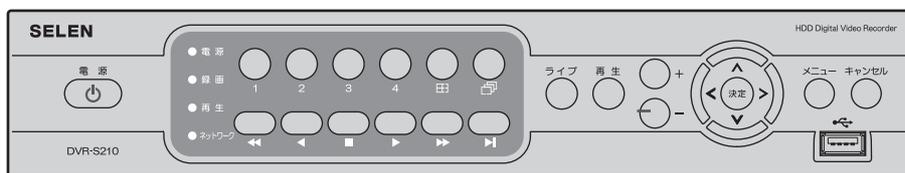


ネットワークの概要

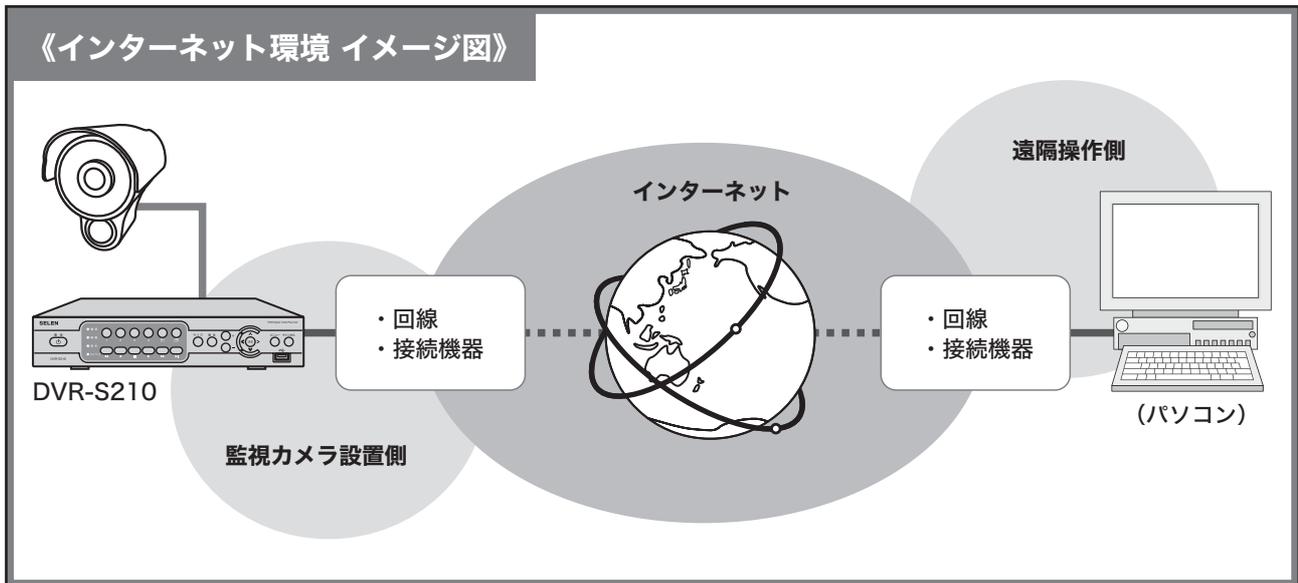
本製品は、離れた場所でもインターネットに接続できるパソコンから映像を確認することができます。また、Eメールが受信できる携帯電話などへ本製品のさまざまな状況を連絡することが可能です。



インターネット環境のあるパソコンで
映像を確認できます



メールで動体検知などの異常を
お知らせします



本製品のライブ映像や録画データを遠隔から見るためには、インターネット回線や接続機器等、次のような環境や機器等が必要になります。必要に応じてご準備ください。

遠隔から DVR-S210 の映像を見るために必要となる主な環境および機器

■ DVR-S210 側

- 環境**
- ・インターネット（ブロードバンド）回線（ADSL、光回線、ケーブル回線等）
 - ・インターネットプロバイダーとの契約

- 機器**
- ・インターネット回線接続機器（モデム、ONU（光回線終端装置）等）
 - ・DDNS（ダイナミックドメインシステム）対応ルータ
 - ・設定用パソコン※

- 設定**
- ① インターネット接続の設定
 - ② ルータでドメイン（DDNS）の取得およびルータ設定
 - ③ 録画機（DVR-S210）の設定
 - ・TCP/IP 設定（設定方法は P70）
 - ・メール送信設定（設定方法は、P74）

■ 遠隔操作側

- 環境**
- ・インターネット（ブロードバンド）回線（ADSL、光回線、ケーブル回線等）
 - ・インターネットプロバイダーとの契約

- 機器**
- ・インターネット回線接続機器（モデム、ONU（光回線終端装置）等）
 - ・操作用パソコン※

以上の環境や機器等が必要となります。
ご使用になる環境に合わせてご用意ください。

※設定用・操作用パソコンの推奨の環境

- ◆本 体：IBM PC / AT 互換機
- ◆O S：Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
- ◆CPU：Pentium4 2.4Ghz 以上を推奨
- ◆メモリ：512MB 以上を推奨（Vista の場合は 1GB 以上を推奨）

TCP/IP 設定

ネットワーク（インターネット回線）を通して外部のパソコンから本製品のライブ画面や再生画面を見るときに設定します。

IP アドレスを自動取得する

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。（パスワード未設定の場合）【▲▼】ボタンで画面上の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32をご覧ください。

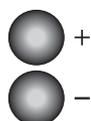
2 【▲▼◀▶】ボタンでネットワーク項目の【TCP/IP】を選び、【決定】ボタンを押す。



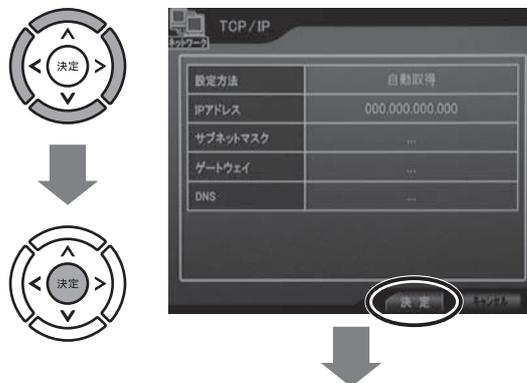
3 TCP/IP 設定画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【設定方法】を選択します。（初期設定は、【自動取得】になっています。）



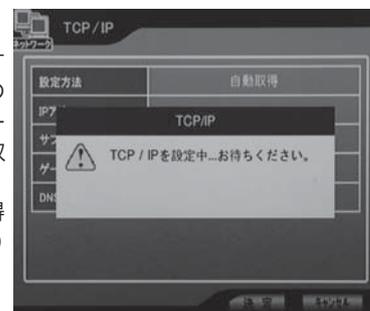
4 【+-】ボタンで【自動取得】に切り替えます。



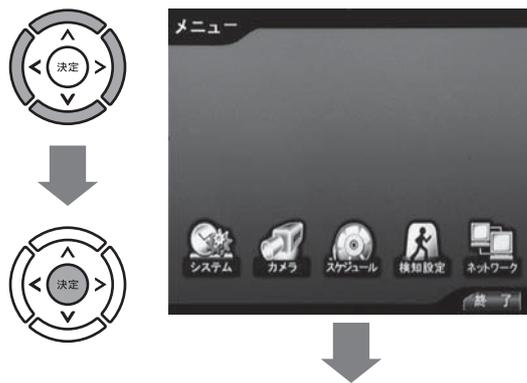
5 【自動取得】を選択後、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。設定しない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



【自動取得】で設定する場合は、ルータのDHCP機能を使い、ローカルアドレスを自動取得します。
【注】IPアドレスは取得したケースにより異なります。



6 IPアドレスを自動取得後、メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。



ライブ画面に戻ります。

本製品を接続したDDNS対応ブロードバンドルータ（以下ルータ）指定ポートの接続先を本製品のローカルアドレスに設定してください。設定方法につきましては、ルータの取扱説明書等をご確認ください。

項目	設定内容
WEB	80
RTP	9091 ~ 9099

固定 IP アドレスを設定する

本製品の IP アドレスを設定する前に

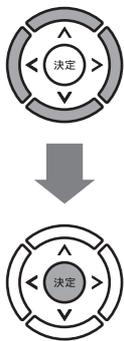
本製品を接続した DDNS 対応ブロードバンドルータ（以下ルータ）指定ポートの接続先を本製品のローカルアドレスに設定してください。設定方法につきましては、ルータの取扱説明書等をご確認ください。

項目	設定内容
WEB	80
RTP	9091 ~ 9099

1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。（パスワード未設定の場合）【▲▼】ボタンで画面上的【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32 をご覧ください。

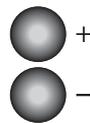
2 【▲▼◀▶】ボタンでネットワーク項目の【TCP/IP】を選び、【決定】ボタンを押す。



3 TCP/IP 設定画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで画面上的【設定方法】を選択します。（初期設定は、【自動取得】になっています。）



4 【+-】ボタンで【固定 IP】に切り替えます。



5 IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNS が表示されます。

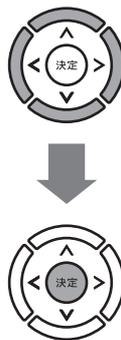


■固定 IP 設定をするときに入力する項目

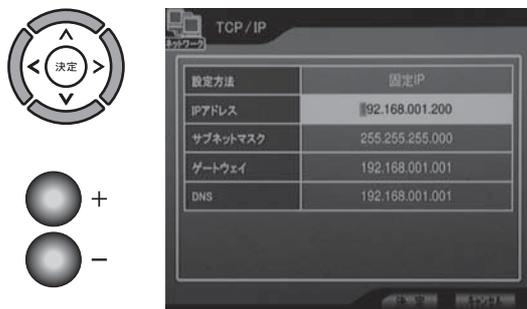
項目	内容
IP アドレス	ルータに設定した IP アドレス
サブネットマスク	ルータのサブネットマスク
ゲートウェイ	ルータのアドレス
DNS	ルータのアドレス

※ルータ設定の際、確認してください。

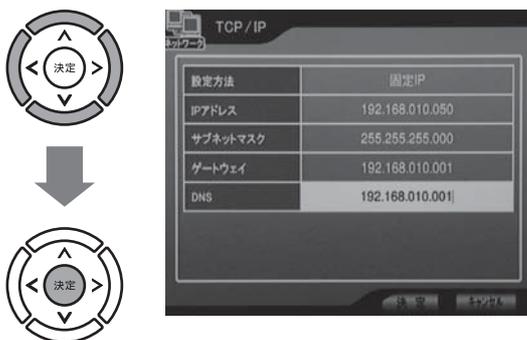
6 【▲▼◀▶】ボタンで【IP アドレス】【サブネットマスク】【ゲートウェイ】【DNS】の各項目を選択し、数字を変更します。



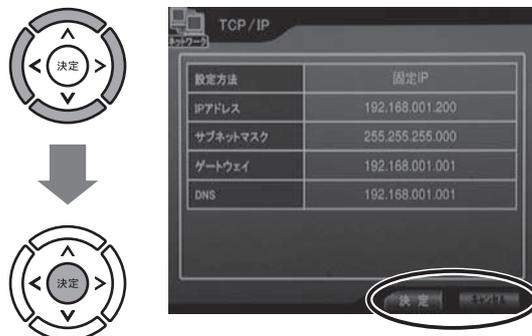
- 7** 【▲▼◀▶】ボタンで変更したい数字を選択し、【+-】ボタンで数字を切り替えます。また、数字入力パレットを使用しても入力することもできます。P94「いろいろな数字入力方法」をご覧ください。



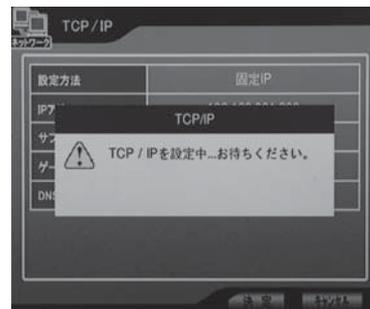
- 8** 【▲▼】ボタンで選択部分(ピンク色)を移動させ、IPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNSすべての項目を入力します。



- 9** IPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNSすべての項目の入力が終了したら、【▲▼】ボタンで画面上的【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。設定しない場合は、画面上的【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



IPアドレス設定画面が表示されます。



- 11** 設定終了後、メニュー画面に戻ります。【▲▼】ボタンで画面上的【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。



ライブ画面に戻ります。

メール送信設定

センサーや動体検知が検知した場合、また、本製品の電源が切られたりカメラ映像が断線などで途切れたりした場合などに、指定したメールアドレス（1アドレス）にメール送信することができます。

※設定内容は、ご契約のプロバイダーによって異なります。

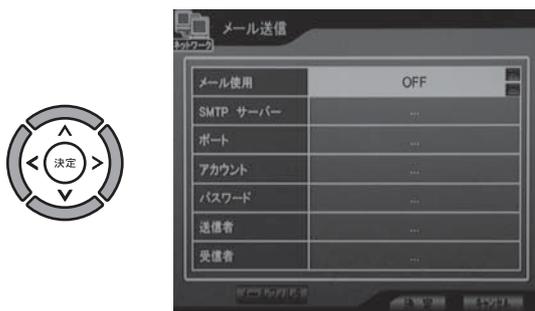
1 ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。（パスワード未設定の場合）【▲▼】ボタンで画面中の【決定】を選択し【決定】ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

※「メニュー画面の表示方法」は、P32をご覧ください。

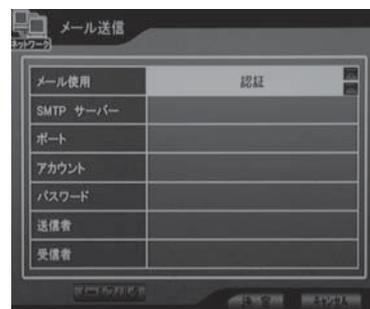
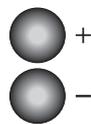
2 【▲▼◀▶】ボタンでネットワーク項目の【メール送信】を選び、【決定】ボタンを押す。



3 メール送信設定画面が表示されます。【▲▼】ボタンで【メール使用】（初期設定の場合【OFF】）にあわせませす。



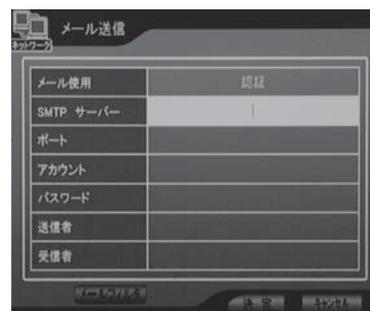
4 【+-】ボタンを押すごとに【認証】【非認証】【OFF】が切り替わります。



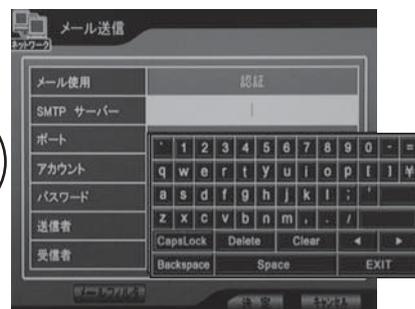
【受信者】以外の項目は、プロバイダーとご契約されているメール関連の事項を入力しますので、ご契約書類等、契約内容がわかるものをあらかじめご用意ください。

サーバーの【認証】・【非認証】については回線によって異なりますので、ご契約されているプロバイダーにご確認のうえ、設定してください。※設定が異なるとメールが送信されない場合があります。

5 次に【▲▼】ボタンで【SMTPサーバー】（初期設定の場合【空欄】）にあわせませす。



6 【決定】ボタンを押すと文字入力パレットが表示されます。



7 【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ、入力する数・文字・記号を選択し、【決定】ボタンを押す。同様の操作を繰り返して入力していき、入力が終了したら【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを [EXIT] にあわせ【決定】ボタンを押し、文字パレットを終了させます。同様に文字パレットを使用し、各項目に必要な事項を入力します。

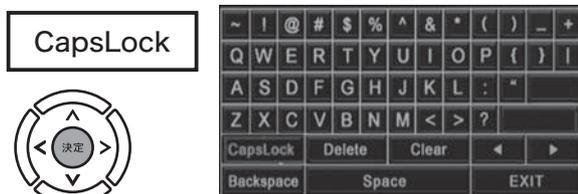


【受信者】の項目には、メールを送信する先のメールアドレスを入力してください。また、【パスワード】欄に入力した数・文字・記号は、すべて「*」で表示されます。入力間違いのないようご注意ください。

文字入力パレットについて

数・文字・記号の入力は【▲▼◀▶】ボタンでカーソル（ピンク色）を移動させ、【決定】ボタンを押して確定させます。

また、文字パレットは、【▲▼◀▶】ボタンで [CapsLock] を【決定】ボタンを押すごとに入力できる文字の表示が切り替わります。必要に応じて切り替えてください。



CapsLock	文字パレットを切り替えます
Delete	選択中の 1 文字を削除します。
Clear	入力した文字をすべて消去します。
◀	カーソルが左に移動します。
▶	カーソルが右に移動します。
Backspace	カーソル左側の 1 文字を削除します。
Space	スペースを入力します。
EXIT	文字入力パレットを終了します。

メールフィルタを設定する

メール送信において、項目ごとにメール送信する [ON]、しない [OFF] を設定できます。初期設定は、すべての項目でメール送信する [ON] 設定になっています。メール送信の必要ない項目は [OFF] に変更してください。
※ 項目内容については、次ページの [表 1] を参照してください。

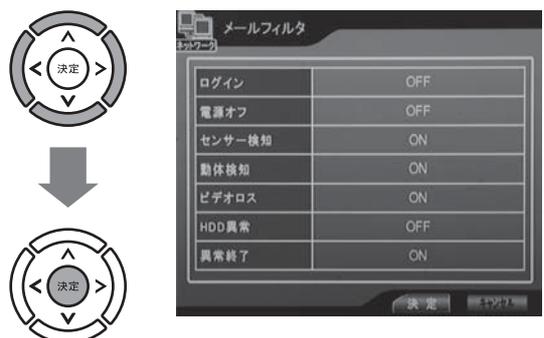
8 【▲▼◀▶】ボタンで画面左下にある [メールフィルタ] を選択し【決定】ボタンを押す。



9 メールフィルタ設定画面が表示されます。【▲▼◀▶】で変更する項目にあわせ、【+】ボタンで [ON][OFF] を切り替えます。同様の操作を繰り返して設定する。

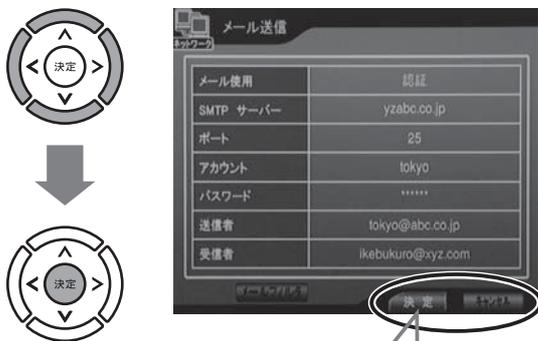


10 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [決定] を選択し、【決定】ボタンを押すとメール送信画面に戻ります。



11 項目の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押す。

設定を確定させない場合は、画面上の【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押す。



注 画面上の【決定】を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

12 メニュー画面に戻ります。画面上の【終了】を選択し、【決定】ボタンを押す。



ライブ画面に戻ります。

[表 1]

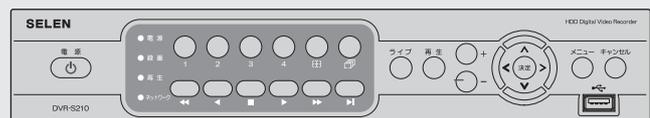
項目	内容
ログイン	インターネット経由で DVR の画面に入ったときにメールします
電源オフ	電源ボタンで DVR が通常にオフされたときにメールします。
センサー検知	センサー録画時や検知録画時にセンサーが検知するとメールします。
動体検知	動体検知録画時や検知録画時に動体検知されるとメールします。
ビデオロス	カメラの映像信号が切断されるとメールします。
HDD 異常	HDD (ハードディスク) が異常のときにメールします。
異常終了	停電時や電源が切られたときに、電源が入った段階でメールします。

[メール送信内容] メールは、次のような内容で送信されます。

項目	件名	前文	本文
ログイン	ログイン	監視カメラシステム (DVR) からの送信です	ネットワーク経由の画面が開きました 発生日時
電源オフ	電源オフ		DVR の電源がオフになりました 発生日時
センサー検知	センサー検知 (○)		センサー (○) が検知しました 発生日時
動体検知	動体検知 (○)		カメラ (○) が動体検知しました 発生日時
ビデオロス	ビデオロス (○)		カメラ (○) の映像が断線等によって遮断されました 発生日時
HDD 異常	HDD 異常		HDD が異常です。録画 LED (DVR) の確認をお願いします 発生日時
異常終了	異常終了		停電もしくは電源が抜かれ異常終了し、下記時間に復帰しました 発生日時

※ センサー、動体検知、ビデオロスの (○) の部分には対象となるカメラの番号が入ります。

記録を確認(再生)・コピーする

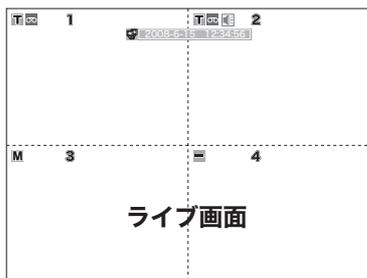


検知リスト

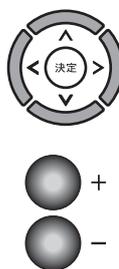
センサー検知での録画、または動体検知での録画の設定の時に、検知した日時をリストで一覧表示ができます。また検知したリストを選択し録画データの再生を行うことができます。

※ 検知リストからの再生の場合、プリアラーム機能により検知時間の約5秒前からのデータを再生することができます。

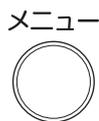
1 ライブ画面で、【再生操作画面切替】ボタンを押す。



4 カメラを限定して [検知リスト] を表示したい場合は、画面上の [カメラ] 部分で【+】ボタンを押してカメラの番号を選択します。
※カメラは、[全カメラ] ⇄ [1] ⇄ [2] ⇄ [3] ⇄ [4] の順に切り替わります。最初は、[全カメラ] になっています。

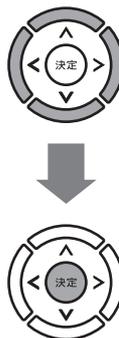


2 日時指定再生画面が表示されます。検知リストを表示したい日付を【▲▼】ボタンで選択し、【メニュー】ボタンを押す。



【注】日時指定操作を行わずに【メニュー】ボタンを押すと、操作している日のリスト表示になります。

5 【▲▼◀▶】ボタンで、リストに移動し、再生したいリスト表示を選択し、【決定】ボタンを押す。



3 検知リスト画面が表示されます。日時指定再生画面で選択した日付の [検知リスト] が表示されます。また、リストは最新が一番下になるように表示されます。



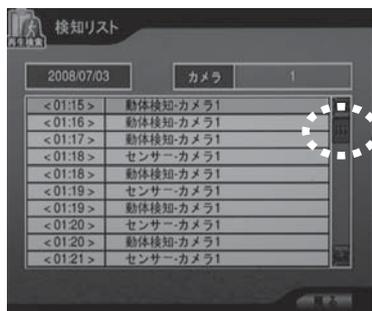
検知リストの確認

検知リストの表示は、10件ごとの表示になります。[検知リスト]画面右のスクロールバーが下の位置にあるときは、リストが上部のページにもあることを示しています。【▲▼◀▶】ボタンでリスト選択部に移動し、【+】ボタンでページを切り替えることができます。

※最初は、スクロールバーが一番下になっていません。【+】を押してページを切り替えてください。



スクロールバー



スクロールバー

6 検知リスト再生がスタートします。



7 再生の操作方法は、「再生の操作方法」P26をご参照ください。

再生中の操作

■検知リスト内の別の記録を再生する場合

再生中に【メニュー】ボタンを押す。
⇒ [再生画面メニュー]画面に戻ります。

再生画面メニューが表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで[検知リスト]を選択し、【決定】ボタンを押すと[検知リスト]が表示されます。



【注】再生中に【メニュー】ボタンを押して[検知リスト]画面を表示した場合、表示される[検知リスト]は、再生していた日付のリスト表示になります。[検知リスト]日付を変更したい場合は、[日時指定再生]画面に戻って、日付の指定からやり直してください。

※ [日時指定再生]画面への戻し方は複数ありますが、【ライブ画面切替】ボタンを押して、一度ライブ画面に戻り、【再生操作画面切替】ボタンを押すのが簡単です。

■日時指定再生画面からやり直す場合

再生中に【再生操作画面切替】ボタンを押す。
⇒ [日時指定再生]画面に戻ります。

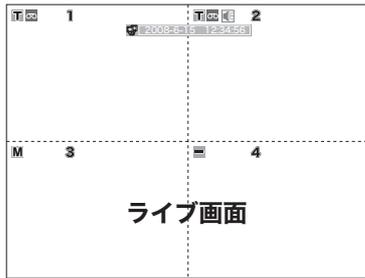
■再生を終了する場合

再生中に【ライブ画面切替】ボタンを押す。
⇒ [ライブ画面]に戻ります。

履歴リスト

システムのスタートや設定変更・リレー出力された等、本体の動作上発生した履歴をリストとして表示することができます。

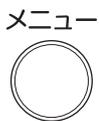
- 1** ライブ画面で、【再生操作画面切替】ボタンを押す。



- 2** 日時指定再生画面が表示されたら、【決定】ボタンを押す。
日時指定再生の操作方法については、「再生の操作方法」P26 をご覧ください。



- 3** 再生がスタートしたら、【メニュー】ボタンを押す。



- 4** 再生画面メニューが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで [履歴リスト] を選択し、【決定】ボタンを押す。



- 5** 記録された日時の最新の [履歴リスト] が表示されます。また、リストは最新が一番下になるように表示されます。



履歴リストの確認

履歴リストの表示は、10件ごとの表示になります。[履歴リスト]画面右のスクロールバーが下の位置にあるときは、リストが上部のページにもあることを示しています。【+】ボタンでページを切り替えることができます。

※最初は、スクロールバーが一番下になっています。【+】を押してページを切り替えてください。



スクロールバー



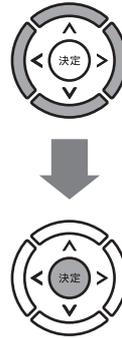
スクロールバー

6 次に、下の表を参考に【▲▼◀▶】ボタンで、選択部分を移動し【決定】ボタンを押して、確認したい日付を表示させます。

表示ボタン	内容
	一番古い日時リストが表示されます
	表示されている年月日から1日戻ります
	表示されている年月日から1日進みます
	最新のリストが表示されます

7

【▲▼◀▶】ボタンで画面上の[戻る]を選択し、【決定】ボタンを押すと[再生画面メニュー]に戻ります。



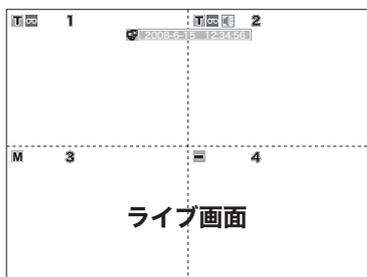
《履歴リストに表示される項目と内容》

表示項目	内容
システムスタート	本体の電源が入り、動作し始めたことを表します
設定変更	各項目の設定が変更されたことを表します
ノーマルシャットダウン	電源ボタンを押し、正常な状態でDVRの電源が切られたことを表します
異常シャットダウン	停電等、異常な状態で電源が切られたことを表します
ログイン	ネットワークを介し本体にログインされたことを表します
ログアウト	ネットワークを介しログインされた状態が終了したことを表します
リレー出力	検知設定の各項目で設定されたリレー出力が働いたことを表します
警報ブザー	検知設定の各項目で設定された警報ブザーが働いたことを表します
ビデオロス	接続されていたビデオ入力信号が途切れたことを表します
ディスク容量100%	ハードディスク容量が100%に達したことを表します

コピー

本製品は、HDD に記録された録画データの一部分を USB フラッシュメモリ（別売）にコピーし、パソコンで再生することができます。

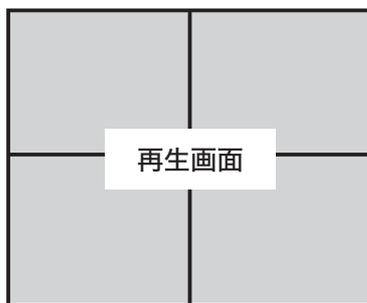
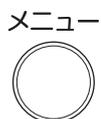
1 ライブ画面で、【再生操作画面切替】ボタンを押す。



2 【日時指定再生】画面が表示されたら、【決定】ボタンを押す。
日時指定再生の操作方法については、「再生の操作方法」P26 をご覧ください。



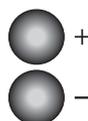
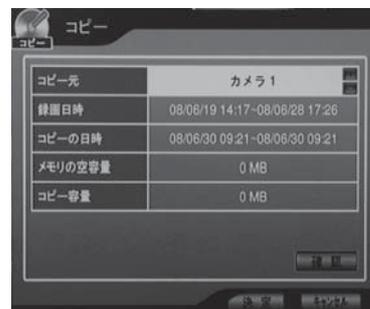
3 再生がスタートしたら、【メニュー】ボタンを押す。



4 再生画面メニューが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで【コピー】を選択し、【決定】ボタンを押す。



5 コピー画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで【コピー元】（初期設定の場合【カメラ1】）を選択し、【+-】ボタンで、コピーしたい記録元のカメラ番号に合わせます。



項目	内容
コピー元	コピーするカメラのチャンネルを選択します。
録画日時	HDD に記録されている録画データの期間を表します
コピーの日時	USB フラッシュメモリにコピーしたい時間の範囲を設定します
メモリの空容量	USB フラッシュメモリの空き容量が表示されます
コピー容量	設定した範囲のデータ容量を表示します

6 次に【▲▼◀▶】ボタンで[コピーの日時]を選択し、コピーしたい日時の範囲を入力します。

【▲▼◀▶】ボタンで変更したい数字を選択し、【+-】ボタンで数字を切り替えます。また、数字入力パレットを使用して入力することもできます。P94「いろいろな数字入力方法」をご覧ください。



◆使用できる USB フラッシュメモリの条件

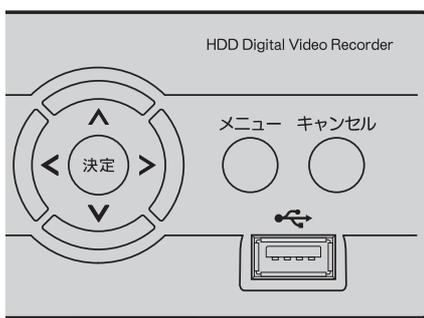
- ・ USB (1.0 / 2.0)
- ・ 2GB 以内を使用してください。

◆コピーできる時間の目安

2GB = 約 2 時間

※録画されている映像によってコピーできる時間は、大きく増減します。

7 [コピーの日時] を入力し終わったら、USB フラッシュメモリ (別売) を本体前面の USB 端子に挿入します。

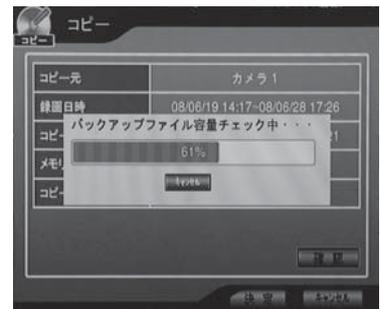


8 【▲▼◀▶】ボタンで[確認]に移動させ、【決定】ボタンを押す。



9 コピーする範囲のデータ容量と USB フラッシュメモリの空き容量をチェックします。処理が終わるまでお待ちください。

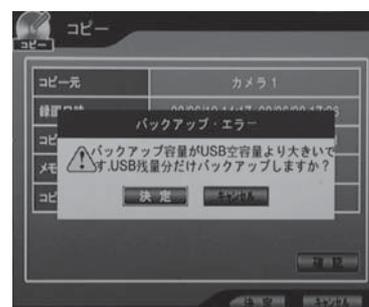
画面上では、[キャンセル] が選択された状態になっています。途中でキャンセルする場合は、【決定】ボタンを押します。キャンセルした場合、[コピー] 画面に戻ります。



エラーメッセージ

コピーする範囲のデータ容量が USB フラッシュメモリの空き容量より大きい場合、「エラーメッセージ」が表示されますので、コピーする範囲を狭くして再度チェックしてください。

【決定】ボタンを押すと、USB フラッシュメモリの空き容量のある分だけコピーをします。



10

確認が終わると、画面上の [決定] 表示が白反転します。表示を確認のうえ、【決定】ボタンを押す。

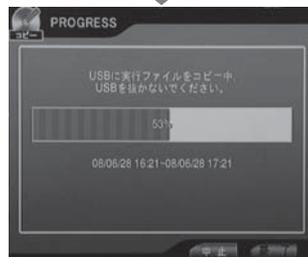
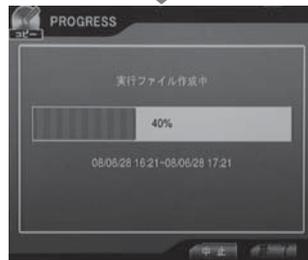
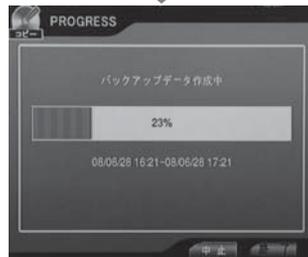


11

コピーを開始します。

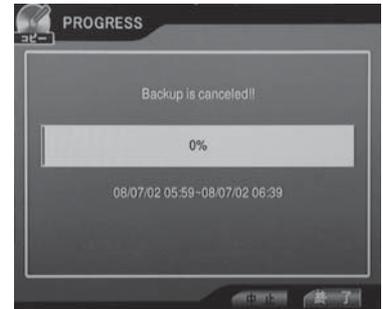
《注》

コピー中はUSBフラッシュメモリを本体から抜かないでください。



コピーを中止する場合

コピー中、画面上では [中止] が選択された状態になっています。途中でコピーを中止する場合は、【決定】ボタンを押す。コピーを中止すると、[Backup is canceled!!] と画面表示されます。画面上の [終了] が選択されていますので、【決定】ボタンを押し、15の操作へ進んでください。



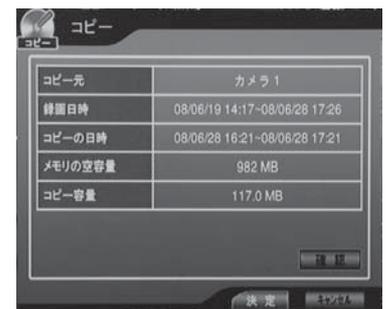
12

コピーが終了すると「バックアップ終了」と表示されます。画面上の [終了] の表示が白反転していることを確認のうえ、【決定】ボタンを押してください。



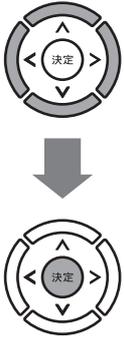
13

コピー画面に戻ります。【▲▼◀▶】ボタンで [キャンセル] を選択し、【決定】ボタンを押す。



14

[再生画面メニュー] が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで [終了] を選択し、【決定】
ボタンを押す。



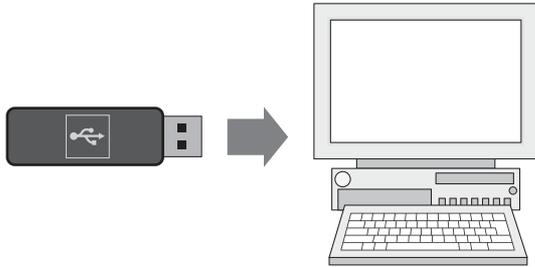
コピーしたデータをパソコンで再生する

USB フラッシュメモリにコピーした録画データを、パソコン（以下、PC）で再生します。

再生に使用する PC の環境の条件

項目	内容
PC	IBM PC / AT 互換機
OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
CPU	Pentium4 2.4Ghz 以上を推奨
メモリ	512MB 以上を推奨（Vista の場合は 1GB 以上を推奨）

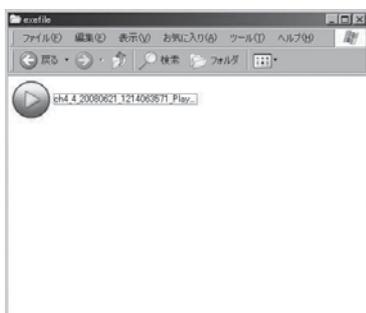
1 PC 本体の USB 端子に、コピーデータの入った USB フラッシュメモリを差し込みます。



2 対象となるドライブを開き、ドライブの中に [exefile] というフォルダがあることを確認します。



3 [exefile] フォルダを開き、フォルダの中に再生ファイルがあることを確認します。



3 再生ファイルを開くと、再生画面が表示されます。



次ページの操作方法をご覧になり、再生操作を行ってください。

《注》 PC 本体から USB フラッシュメモリを取りはずす場合は、PC 本体の手順（ハードウェアの安全な取り外し等）にそって取りはずしてください。

操作画面の説明



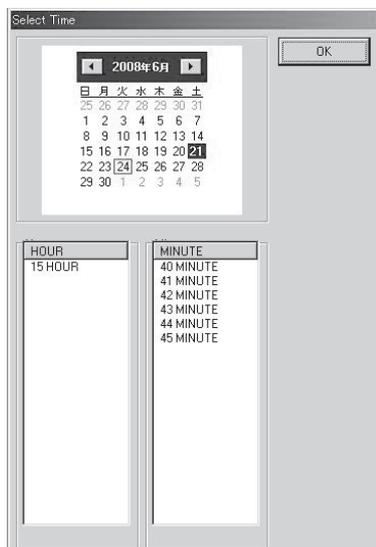
ボタン操作の説明

- ① データの一番最初に戻す
- ② コマ戻しする
- ③ 早戻し再生する
- ④ 戻し再生する
- ⑤ 再生停止する（一時停止状態）
- ⑥ 通常再生
- ⑦ 早再生する
- ⑧ コマ送りする
- ⑨ データの一番最後に進める
- ⑩ 表示されているデータの時間

- ⑪ 時間検索設定
- ⑫ 静止画を保存する
- ⑬ 静止画を印刷する
- ⑭ 画面設定

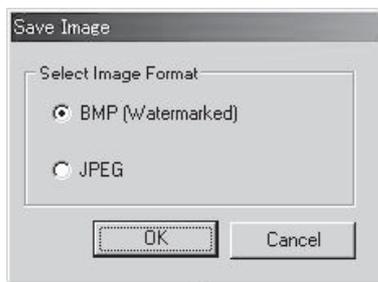
⑪ 時間検索設定

コピーしたデータの中で時間指定することができます。分・秒を選択し、【OK】をクリックしてください。



⑫ 静止画を保存する

アイコンをクリックした時点の画像をビットマップ形式か、JPEG形式で保存できます。形式を選択し、【OK】をクリックしてください。



⑬ 静止画を印刷する

アイコンをクリックした時点の画像をプリンターで印刷できます。（パソコンにプリンターが接続してある必要があります。）

⑭ 画面設定



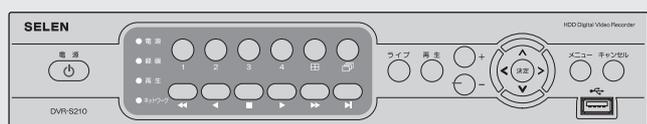
画面の画質等を調整できます。

- 画面の線明度を調整します
- 画面の明るさを調整します
- 画面のコントラストを調整します
- 音声のボリュームを調整します

⊖ ⊕ で調節してください

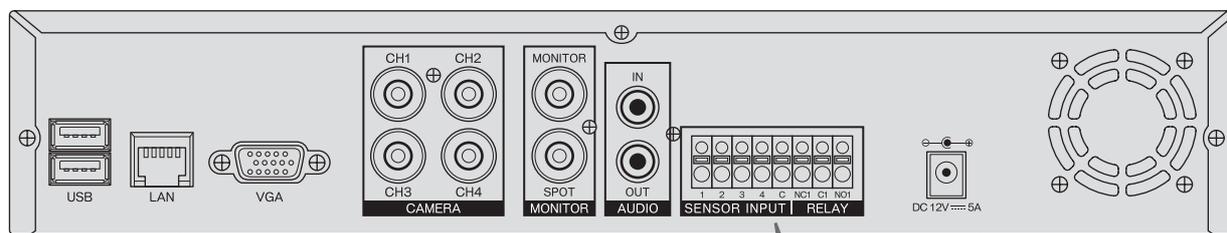
- 調整をリセットします
- 画面を拡大/縮小します

付録



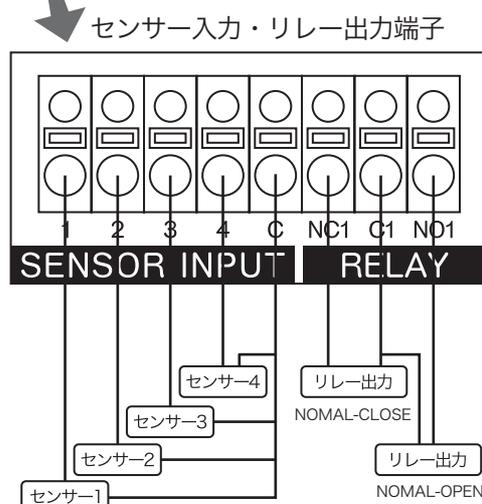
外部センサー・リレー端子の使い方

【本体裏面】



■外部センサーを使用し録画を開始したいとき

- ◇外部センサーを使用し録画を開始したいときは、本体裏面の「センサー入力・リレー出力端子」を使用します。
 - ◇外部センサーは4個まで接続できます。右の図を参考に入力端子1～4およびCにセンサーを接続してください。
 - ◇接続したセンサーのタイプ（NORMAL-CLOSEタイプまたはNORMAL-OPENタイプ）にあわせて、「センサー設定」を変更してください。
 - ◇外部センサーでの録画は、[センサー設定]のほかに[録画スケジュール]で録画設定を検知録画[E]、センサー録画[S]にする必要があります。
- ※外部センサーでの録画は、センサー検知がはたらいている間、継続し続けます。



⚠ 注意

センサーは、無電圧のものを接続してください。
無電圧のセンサー以外では、本機が破損する場合があります。

■リレー端子を使うとき

- ◇本製品は、接続したセンサーが検知した場合や動体検知が検知した場合、およびビデオロスが発生した場合にリレーがはたらきます。
 - ◇リレー端子は、「NOMAL-OPEN」および「NOMAL-CLOSE」タイプです。
 - ◇上の図を参考に接続してください。
 - ◇リレー出力は、[センサー設定] [動体検知設定] [ビデオロス設定]でリレー出力の設定を[ON]にする必要があります。
- ※リレー出力は検知後、約10秒間はたらきます。

⚠ 注意

リレー端子への接続は、DV24V/0.5A以下の外部機器をお使いください。
DC30V/1.0Aより上の機器を接続すると、本機が破損する場合があります。

仕様

本製品の主な仕様は、下記の通りです。

項目	仕様
型式	DVR-S210
電源	専用 AC アダプター 入力：AC100V 50/60Hz 出力：DC12V
消費電力	(通常時) 約 18W / (待機電力) 約 0.4 W
使用温度範囲	約 + 5 ~ 約 + 40°C
使用湿度範囲	約 80%以下
外形寸法	320mm (W) × 246mm (D) × 58mm (H) ※突起物含まず
質量	約 2.5kg (AC アダプター含まず)
映像入力	1.0Vp-p 75 Ω (BNC) 4 系統
映像出力	モニター出力 (BNC) 1 系統、SPOT 出力 (BNC) 1 系統
	RGB 出力 (VGA) 1 系統
音声入力	RCA 入力 1 系統
音声出力	RCA 出力 1 系統
圧縮方式	MPEG-4
記録媒体	HDD (250GB 内蔵)
録画スピード	[30]・[15]・[10]・[8]・[7]・[5]・[3]・[1] (フレーム)
外部センサー入力	4 系統
リレー出力	1 系統
ネットワークポート	イーサネット RJ-45 100BASE-Tx / 10BASE-T
USB 端子	USB2.0
マウス	USB マウス
バックアップメディア	USB フラッシュメモリ (1.0 / 2.0)

故障かな?と思ったら…

「故障かな?」と思ったときは、まず次の【症状/原因と処置】をよくお読みになり、接続や設定に間違いがないことをご確認ください。

症状	原因と処置
電源が入らない	◇電源コードや AC アダプターが確実に接続されていますか? →接続を確認してください。
モニター・テレビに映像が出ない	◇本製品の映像出力からモニター・テレビの「外部入力」に映像ケーブルがきちんと接続されていますか? →接続を確認してください。
	◇モニター・テレビのチャンネルは「外部入力」になっていますか? →モニター・テレビのチャンネルを確認してください。 注) 接続される機器の操作につきましては、各取扱説明書をご覧ください。
カメラからのライブ画面がモニター・テレビに表示されない	◇カメラはきちんと接続されていますか? →カメラの接続を確認してください。(カメラの電源を含む)
	◇再生画面になっていませんか? →ライブ画面にしてください。
カメラ映像がぼやける	◇カメラのレンズにごみやほこり、水滴などが付着していませんか? →カメラの前面を確認してください。
録画できない	◇カメラを接続しているチャンネルの「録画設定」が [OFF] になっていませんか? →「カメラ設定」の「録画設定」を [ON] にしてください。
	◇スケジュールは正しく設定されていますか? (「-:録画しない」設定になっていませんか?) →スケジュール設定を確認してください。
	◇HDD の「上書き設定」が [NO] になっていませんか? →HDD の「上書き設定」が [NO] になっていると、HDD の使用率が 100% になった時点で録画がストップします。「上書き」設定を [YES] にしてください。
動体検知設定をしているが、カメラの映像が動いても録画しない	◇「録画スケジュール」は [M: 動体検知] [E: 検知録画] になっていますか? →「録画スケジュール」で、設定する時間帯の録画設定を [M: 動体検知] にしてください。
	◇「動体検知設定」の「エリア設定」で検知したい場所がエリア設定されていますか? →「動体検知設定」の「エリア設定」で検知したい場所にブロックをあわせエリア設定をしてください。
「ビデオロス」が表示される	◇カメラは正しく接続されていますか? →カメラの接続を確認してください。
	◇カメラを接続していないチャンネルの「録画設定」が [ON] になっていませんか? →カメラを接続していないチャンネルの「録画設定」を [OFF] にしてください。
	◇接続や設定に問題がない場合は、ケーブルの断線またはカメラの故障が考えられますので、販売店にご相談ください。

症状	原因と処置
外部センサーを接続していないのに、検知録画が開始される	◇「スケジュール設定」が[S:センサー検知]もしくは[E:イベント検知]に設定されていて、「センサー設定」のいずれかのチャンネルが[N.C]になっていませんか？ →外部センサーを接続しない場合は、「センサー設定」の全てのチャンネルを[N.O]に設定してください。
「上書き」の設定を[NO]にしても録画が継続される	◇HDDの使用率が100%未満である。 →「上書き」の設定を[NO]にした場合、HDDの使用率が100%になった時に録画が停止します。また、上書き録画をしている途中で[NO]に変更しても、HDDの使用率が100%になるまで録画は継続します。(100%になった時点で録画が停止します。)
パスワードを入力したのにメニュー画面に入れない	◇入力したパスワードに誤りはありませんか？ →正確にパスワードを入力してください。(注：工場出荷時はパスワードは設定されていませんのでご注意ください。)
日付をまたいで再生すると、映像が一時的に止まったようになる	◇日付をまたがって再生する場合、日付が変更される瞬間、映像が一瞬止まる場合があります。日付変更の処理を同時に行っているため、再生データに瞬間的な負荷がかかるために起こります。故障ではありません。
早送り/巻き戻し再生中に映像が乱れるようになる	◇記録されたデータを高速処理しているため、映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
日時指定再生画面で時間を指定したが、その時間から再生できない	◇録画されている時間帯を指定していますか？ →指定した時刻に録画データが無い場合は、直後のデータを再生します。全データの一番最後の時刻より未来の時刻を指定した場合は、ブルーバックになります。
接続したカメラが1台にもかわらず、録画した映像が、コマ飛びしているように再生される	◇「カメラ設定」において、カメラを接続していないチャンネルの「録画」が[ON]に設定されていませんか？ →「カメラ設定」の「録画」が、全チャンネル[ON]に設定されている場合、カメラが接続されていないチャンネルにおいても、録画時にフレームが使用されます。そのため、カメラの接続が1台にもかわらず録画時にカメラ4台分のフレームが使用されます。カメラを接続しないチャンネルの「録画」設定を[OFF]にすることをおすすめします。
マイクを接続し、また音声入力に接続しているが、録音されない	◇「カメラ設定」の「録音」の設定が、[OFF]になっている。 →「カメラ設定」の「録音」の設定を、[ON]にしてください。
マイクを接続し、また音声入力に接続して録音したデータを再生すると映像がスムーズに再生されない	◇音声録音された映像を再生すると、条件によっては映像がスムーズに再生されなかったり、音が途切れたり、止まったりする場合がありますが、故障ではありません。
電源コードの被ふくが傷んでる	◇電源コード・電源プラグ・ACアダプターが傷んでいる可能性があります。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
使用中、電源コード・電源プラグ・ACアダプターの一部が熱い	
使用中電源コードを曲げたり伸ばしたりすると暖かくなったりぬるくなったりする	

いろいろな数字入力方法

数字の入力方法には、【+-】ボタンで数字を変更する方法のほかに、数字パレットで入力する方法、本体ボタンまたはリモコンを使用した直接入力の方法があります。

■数字入力パレットの使い方

数字入力パレットは、数字が選択されている状態で【決定】ボタンを押すと表示されます。入力終了後は、【▲▼◀▶】ボタンで[EXIT]を選択し、【決定】ボタンを押すと、数字入力パレットが終了します。



CapsLock	※使用しません。
Delete	選択中の1文字を削除します。
Clear	入力した文字をすべて消去します。
◀	カーソルが左に移動します。
▶	カーソルが右に移動します。
Backspace	カーソル左側の1文字を削除します。
Space	※使用しません。
EXIT	数字入力パレットを終了します。

数字入力パレットと本体ボタン、リモコンの数字対応については、下の表をご確認ください。

■数字入力対応表

数字入力パレット	本体ボタン	リモコン	
		ボタン	数字ボタン
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	田	田	5
6	☐	☐	6
7	◀◀	◀◀	7
8	◀	◀	8
9	■	■	9
0	▶	▶	0
◀			
▶			



株式会社セレン

〒170-0013

東京都豊島区東池袋 1-11-6 相馬ビル

Tell : 03-5911-1045

Fax : 03-5911-1046

E-mail : info@selenguard.com

URL : <http://www.selenguard.com>